

Bulletin

交通 ● ブリテン

ISSN 1349-9610

2015年
年報号

37

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

巻頭言：轟 朝幸
スマート化

Contents

- 2 巻頭言：轟 朝幸
- 3 平成27年度 研究室紹介
- 7 TOPICS 交通システム工学科配置図
- 8 TOPICS 新任教員の紹介
- 9 平成26年度 博士論文・修士論文
・卒業研究
- 12 平成26年度 教員の研究・活動
(2014.4.1~2015.3.31)
- 14 研究業績
- 23 社会的活動
- 27 学外学術活動
- 29 海外出張
- 30 外部研究資金の受入状況
- 31 受賞
- 31 平成26年度 学生の受賞等
(2014.4.1~2015.3.31)
- 32 教室の動き
- 36 平成26年度 就職状況
- 36 編集後記



最近、「スマート〇〇」という表現をよく耳にします。スマートシティ、スマートグリッド、スマートカード、スマートウォッチ、……、挙げればきりがありません。われわれの研究グループでも、「スマートトランジット」「スマートモビリティ」を標榜して、より良い交通システムを構築すべく研究を続けてきています。

さて、ここで、スマートって何でしょうか？ IT用語辞典(www.sophia-it.com)によると、『スマート化とは、情報システムや各種装置に高度な情報処理能力あるいは管理・制御能力を持たせることである。』とあります。われわれも、スマートトランジットの定義および実現に向けた検討課題について議論を重ねてきました。簡潔には「ICT等の技術を用いて、安全安心で便利で効率的な、より良い交通システムを構築すること」と定義しています。そして、その実現には、主に2つのキーとなる課題があると考えました。1つはデータ処理、もう1つは有機的な結合、つまりシステム化です。以下、少し詳しく述べてみます。

1) データ処理……ビッグデータ？ スマールデータ？

ちまたではビッグデータがもてはやされています。街のなか至るところに目を凝らすと、さまざまなセンサー機器が目飛び込んでくることでしょう。鉄道改札のICカードリーダー、商店街のCCDカメラ、道路上の交通感知器、さらには車両に搭載されたGPSやミリ波レーダー、われわれが持ち歩いているスマホのGPSや加速度センサーなど多種多様です。これらの機器は、車両の動き・人の動き・交通の流れなどを毎分毎秒センシングしてデータを記録しています。これこそビッグデータです。貴重なデータであり、上手に活用すれば時々刻々と変動する交通需要の動向・車両の走行状況・人々や物資の流動などを可視化できます。データを加工して指標化することで、交通サービスの評価が可能となり、安全性向上・利便性向上・快適性向上・円滑性向上などに資することができます。

しかし、多くの場合、この膨大なデータを適切に処理し、交通システムの向上へ結びつけているとは言いがたいのが実態です。ビッグデータを収集できる環境が整っても、それを活用する知識・能力を持つ人材は限られるし、ビッグデータを解析するしっかりとした技術も未確立だからです。膨大なデータを収集できても、そのデータに価値を見いださなければ宝の持ち腐れです。大量のデータがあれば問題解決できるものではないのです。

一方で、統計学では、すべてのデータを取得する必要はなく、サンプルデータから全体の傾向を推定できるとされてい

ます。推計統計学と言われるものです。ビッグデータは、推計統計学の考え方に反して、すべてのデータを扱うものです。反するというより、ビッグデータから全体傾向をつかむだけなら、これまでのサンプルデータを用いた解析と得られる結果は変わりません。そこで、ビッグデータ解析においては、全体傾向ではない何かを見つけ出すことが要求されます。膨大なデータのなかにある価値あるデータはスモールデータと呼ばれることがあります。例えば人々の個々の動きを解析すれば、移動においてどこにどんな無駄が生じているかを分析することができます。電車の待ち時間や渋滞など所要時間、道に迷った車両や人がうろろうろする時間など、個々のちょっとした無駄を省くことで全体として大きな効率化が望めます。データに潜む小さな特性を見いだすことで、システム全体としての大きな改善に結びつくことができるのです。

ビッグデータ、スモールデータ、どちらにしてもデータを得て、適切に処理して、それを改善に生かすことで、より良き未来社会を築きあげることができるのであり、わが交通システム工学科でも、それに資する技術開発に関する研究を進め、そして人材を育てていきたいと考えています。

2) 有機的な結合……システム化

本学科は、3年前に交通システム工学科に名称変更しました。交通はさまざまな要素が有機的に結びついて完成するシステムであるとの考えによるものです。この有機的結合のための施策にも、スマート化が有効だと考えています。ICカードは、その典型的事例です。1枚のカードで電車やバスを乗り継ぐことができるばかりか、カーシェアやサイクルシェアにも使えます。さらにはコンビニや自販機で買い物もできます。駅で切符を買い求める際、財布から小銭を見つける手間が省け、より便利になりました。つまり、各要素が、あたかも1つのシステムとなっていることが重要なのです。

ところで、交通システムは学際的分野であり、多種多様な技術や知見が寄り集まって成り立っています。本学科の基礎は建設分野です。しかし、ここで論じているように情報通信分野の知識は必要です。車両特性を理解するための機械システムにも通じていなければなりません。工学分野に限りません。交通事業には経営的視点が欠かせませんし、交通網整備を計画するには地域経済や政治にも通じていなければなりません。まだまだ多くの知識を身につけ、それらを結合させた総合的な知識にまとめ上げないと、専門家を名乗るのはおこがましいと私自身思っています。これらの多くの勉強も、道に迷わずスマートに(効果的に)身につけたいものです。人生も生活も体形も(?)、スマートにいききたいですね。

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 教授
川崎智也 助教



当研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージ」することを目標として研究を進めています。

キーワードは「交通まちづくり」「インターモーダルリズム」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。‘まち’は空間的広がりを意味し、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモーダルリズムとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶などの陸海空のあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的にシームレスな移動を可能にしようとする概念です。

インターモーダルリズムの確立を目指し、交通まちづくりを



大島への研究室研修旅行



成田国際空港での調査

実践するための理念、政策、理論、技法などについてフィールド調査や交通分析などを実施しながら研究を進めます。

●卒業研究テーマ

- ・公共交通（航空、鉄道、バスなど）の交通行分析
- ・交通ビッグデータの解析
- ・ITS施策・マーケティング施策による公共交通活性化分析
- ・空港・港湾計画のための交通分析
- ・パーソナルトランスポーターの交通分析
- ・観光交通計画のための交通分析

●ゼミナール・テーマ

- ・コミュニケーション力アップ（ディベートなど）
- ・就活に向けた実力アップ（SPI、TOEICなど試験対策）
- ・交通計画分野に関する文献レビュー（英論文含む）

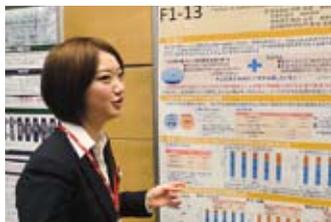
●卒業研究、ゼミナール着手条件

原則として「交通システム計画」「交通需要予測」を履修すること。

これまでの卒論・修論の概要やゼミ旅行などのイベント、学会発表参加などの研究室活動実績はホームページをご覧ください。

(www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/PUBTRPLAN/)

卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



学生による学会発表（理工学部学術講演会）

道路交通 研究室

安井一彦 准教授
池田隆博 助教



安全性と円滑性を高めるための、交通信号制御について研究を行っている、わが国でも数少ない研究室です。3年生は交通工学関連基礎知識を習得するゼミ、4年生と大学院生は、卒業研究・修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からのさまざまな共同研究等を行っています。

道路交通研究室では、道路上に起こりうるあらゆる現象について研究を行っています。交通渋滞・事故等の交通問題については、交差点の現地調査、人物・車両挙動の解析、信号制御等の検討結果を踏まえて、改善に取り組んでいます。また平成27年度からは、より詳細な検討を行うため、衛星測位システムを利用した走行車両の挙動評価、3D計測データによる交差点整備への応用についても実施する予定です。

これからも幅広い視野をもって、道路交通の安全・円滑に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

○研究室ホームページ

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/ROADTRA/IE/itop.html>
ブログも公開しています！

●卒業研究テーマ

主な研究は以下の通りです。

- ・交通規制用保安施設の安全性に関する研究
- ・千葉県の交通事故多発交差点の分析と改善策に関する研究
- ・歩行者優先信号制御に関する研究
- ・単独信号制御の高度化に関する研究
- ・信号交差点における歩行者の交通事故抑止のための新しい情報提供サービスに関する研究
- ・高精度位置情報による車両挙動の分析
- ・衛星測位の高精度化に関する検討

●ゼミナール・テーマ

交通技術者として「道路交通技術必携」と、「交通信号の手引き」の理解。就職にあたっての基礎知識の修得。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通工学に情熱を持っている学生。交通流理論、交通制御を履修または取得している学生。

卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



車に持ち去られにくいステアコーンの共同開発品

交通システム 研究室

福田 敦 教授
石坂 哲宏 准教授
マーライタム サテーター 助手



交通システム研究室では、さまざまな交通問題に対してシステム工学的アプローチで取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価の問題に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。

アジアの都市において、地下鉄やBus Rapid Transitなどの公共交通の導入、公共交通指向型開発の実施、P&Rによる駐車管理、バイオ燃料の利用などがCO₂排出量の削減にどの程度寄与するかを検証しています。また、ITS技術や高度な交差点制御システムなどを評価するために、走行している車両から走行データを収集するプローブ情報システムの活用しています。また、これらの走行データをモデル化してマイクロ交通流シミュレーションモデル (TS)、ドライビングシミュレーター (DS)の開発しており、さまざまな施策の評価に適用しています。

開発したモデルやシステムの適用は、各国の大学あるいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。近年では東北大学、名古屋大学、タイのチュラロンコン大学、コンケン大学などと共同で研究を進めています。卒研究生や大学院生がこれらの国へ行き、現地の学生と協力して調査なども行っています。

●卒業研究テーマ (一部)

- ・公共交通指向型開発を前提としたBRT導入時のCO₂排出削減量の推計—タイ・コンケン市を対象として—
- ・BRTの導入効果の推計—ラオス・ヴィエンチャン、タイ・コンケン、ベトナム・ダナンを対象として—
- ・コンケン市におけるVKT及び燃費の推計に関する研究
- ・DSを活用した交通情報提供システムの評価
- ・プローブ走行軌跡を活用した交通渋滞把握に関する研究
- ・プローブ情報を活用した燃費改善効果の検証

●ゼミナール・テーマ

小グループごとに対象都市を選び、そこでの具体的な交通問題を取り上げて、それを解決するための計画案を作る。計画案作りの過程や現地調査を通じて、現況調査の方法や各種の数理計画的手法・モデルを活用した計画案の分析方法を学習する。報告書を作成し、講習会を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通問題の解決にかかわる職業につくことを希望している者。交通需要予測、国際コミュニケーション論、国際開発援助論、多変量解析、情報通信システムを受講している、あるいは受講することを推奨する。
卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



ドライビングシミュレーター

交通環境 研究室

藤井敬宏 教授
伊東英幸 准教授



交通環境研究室では、公共交通や福祉交通、観光交通などの利便性向上に向けた改善策の検討や、環境に配慮した交通インフラ整備の計画や評価、ならびに交通環境の改善に向けた研究などを進めています。

例えば、公共・福祉・観光交通の視点では、デマンドバスや介護タクシーなどの交通改善計画の検討や、交通バリアフリー化に向けた対策・評価方法の検討、子育て世代の交通支援策、障がい者や外国人などの観光交通の改善などを研究しています。また交通環境の視点では、環境共生型の社会基盤整備の計画や、交通インフラの構築により破壊される自然環境や生態系サービスの影響評価や保全方法の検討、野生生物と自動車の交通事故分析などに取り組んでいます。

平成26年度は修士課程M2が3名、M1が3名、卒研究生13名、3年ゼミ生10名の総勢29名が在籍し、毎週行っているゼミナ

ールに加えて、研究室内の卒業研究中間発表会を年2回、鳥取と鳥根へのゼミ旅行などを行いました。

●ゼミナール・テーマ (平成26年度実施内容)

- ① グループディスカッション
 - ・「インターンシップとは何か」、「社会人として求められる人材の要件とは?」、「現代の若者は〇〇だ」等
- ② 社会貢献型学習：
 - ・品川区バリアフリーまち歩き点検 (大井町)
 - ・国土交通省千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議 (山武市)
- ③ 現代時事問題の演習
- ④ 話題提供
 - ・「交通と環境」、「交通の将来」、「生態系に配慮した交通」
- ⑤ その他
 - ・国土交通白書の要約発表
 - ・富士宮市モビリティ・マネジメント教育

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通環境問題に関心を持ち、ワークショップやフィールド調査に積極的に参加する意欲があること。
卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



ゼミ合宿 (松江城)



グループディスカッション (ゼミナール)



バリアフリーまち歩き点検 (ゼミナール)



富士宮市モビリティ・マネジメント教育 (ゼミナール)

空間情報 研究室

佐田達典 教授

江守 央 助教



空間情報研究室では、衛星測位システム（GPS）、地理情報システム（GIS）、リモートセンシング（RS）などの技術をベースに、これらに共通する「ポジショニング」という概念を核として、交通・建設分野への応用を目指した研究活動を進めています。先端的なセンサを応用して位置や形状を計測・解析・可視化する研究であり、歩行者や車両の高精度測位・計測、交通施設整備への応用を目指しています。



MMSによる道路線形推定



高精度GPSによる実験

衛星測位に関してはGPSの他にロシアのGLONASS（グロナス）も研究対象としています。また、わが国が2010年9月に打ち上げた準天頂衛星初号機「みちびき」の高精度測位実験を民間では最初に実施しました。レーザーを応用した遠隔計測技術として、車両にGPSとともに搭載して道路空間の形状を走行計測するモバイルマッピングシステム（MMS）の研究に取り組んでいます。道路空間データによる道路線形推定や路面の変状抽出などの応用技術を研究しています。

平成26年度は、大学院生5名、卒研究生10名、ゼミナール生10名の総勢25名が在籍し活動しました。

●卒業研究テーマ（平成26年度）

- ① 準天頂衛星を用いた移動時の測位精度向上効果
- ② 衛星測位における衛星の方位角による電離層遅延評価
- ③ 高精度測位データによる曲線区間での運転特性分析
- ④ MMSを用いた法線ベクトルによる路面変状抽出
- ⑤ MMSを用いた歩道のバリア検出
- ⑥ 歩行空間の快適性と円滑性に関する研究
- ⑦ 走行撮影によるコンクリート壁面のひび割れ検出

●ゼミナール・テーマ

GPS、写真測量の仕組みについて専門書の輪講を行います。また、交通調査や交通バリアフリーに関する論文の講読を行い、専門的知識を高めます。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

とくにありません。新技術に挑戦したい方を歓迎します。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

交通計画 研究室

小早川 悟 教授

稲垣具志 助教



本研究室は、「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として研究を行っています。都市や地区の交通を管理するためには、交通政策や交通規制などのほか、交通需要をコントロールしていくためのマネジメントの考え方も重要です。そのためには、交通調査等によりデータを収集し、そのデータを解析することで、現状の交通状況を把握することが重要です。そして、それをどのように地区の交通計画に落とし込んでいくかを考えていくことに取り組んでいます。具体的には、交通需要をコントロールするために自動車のトリップエンドとしての駐車場の計画をどのように行っていくか、都市における物流や貨物車の問題をどのように解決していくか、自転車や二輪車の利用や走行に関する研究、交通安全対策やシニア社会の交通対策、子ども、高齢者、障がい者といった交通社会に



山積みされた救援物資



救援物資の輸送トラック

おける要支援者をサポートする手法の提案、安全で安心して暮らせるための交通計画などの検討も進めており、さまざまな交通問題を地区としてどのように解決していくかを考えています。また、東日本大震災以降は大規模震災発生時の交通問題や物流問題に関する研究にも取り組んでいます。

●卒業研究テーマ

- ・路上駐車を取り締まり方法に関する研究
- ・貨物車の駐車特性に関する研究
- ・路外駐車施設に関する研究
- ・二輪車の駐車問題に関する研究
- ・都市内物流施設の立地に関する研究
- ・災害時の物流対策に関する研究
- ・自転車交通の運用と管理に関する研究
- ・安心・安全なまちづくりに関する研究
- ・住宅地における交通安全対策に関する研究
- ・障がい者の移動支援に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・『交通技術必携』の輪読および発表
- ・「これからの交通工学」や「研究活動の進め方」等の講義
- ・交通対策の現場見学会
- ・交通行動データ解析の基礎演習
- ・セミナー、シンポジウム、講習会等の参加

●卒業研究、ゼミナール着手条件

ロジスティクス概論・交通現象解析Ⅱを受講すること。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

道路マネジメント 研究室

下川澄雄 教授

吉岡慶祐 助手



人口減少、少子高齢化社会が直面するなかで、今後ともくらし豊かな生活、効率的な都市機能を維持していくためには、中山間地域から大都市に至るまで、「コンパクト」+「ネットワーク」により、新たな活力の集積を図り、それらが重層的に重なる国土の形成を図る必要があります。

道路マネジメント研究室は、これらを実現すべく、道路を中心とする交通インフラの計画・設計から維持管理に至るプロセスの中で、今日的な課題や社会的な要請を抽出・整理し、新たな制度設計を提案していくことを研究の柱としています。そのため、研究の対象は、①高速道路などのネットワークのあり方、②道路のサービス水準と道路の新たな計画設計論、③車両性能や交通特性と道路の構造との関わりなど、道路の機能・特性に関わる基礎的な研究から施策立案に関する行政的な応用研究といった広い領域を含むものです。

なお、本研究室では、他大学との合同ゼミ合宿をはじめとして外部との交流も盛んに行っています。

●卒業研究テーマ

- ・道路の機能分類とサービス水準に関する研究
- ・性能照査型の道路計画設計論に関する研究
- ・車両性能や交通特性を踏まえた新たな道路構造に関する研究

- ・道路ネットワークや道路空間の再編に関する研究
- ・ラウンドアバウトの運用に関する研究 など

●ゼミナール・テーマ

小グループごとによるフィールドスタディを通じ、道路交通問題とその解決策を実践的に習得することを狙いとしています。また、グループディスカッションを通じ、とりまとめや説明能力の向上を目指します。平成26年度は静岡県浜松市遠州鉄道沿線地区をフィールドとし、既存データの分析を踏まえた地域活性化のための交通まちづくりについて議論し、その成果をレポートとしてまとめました。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

日頃より道路交通問題や時事問題に関心を持ち、意欲をもって取り組める学生を歓迎します。

卒研、ゼミ受入可能コース：両コース受入可能



外部講師を招いた
夏期セミナー
(平成26年7月30日、
14号館にて)

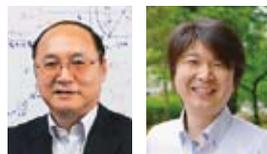


合同ゼミ合宿
(平成26年2月28日～3月1日、
秋田大学にて)

基礎力学 研究室

下辺 悟 教授

齊藤準平 助教



本研究室は、人間生活を営むうえで重要な社会基盤施設の工学的材料である、『土』や『コンクリート』を主な研究の対象としていることから、次のような3つのキャッチフレーズを掲げている。

- ◎『ユビキタス・モニタリング・プロファイリング地盤環境工学』の開拓を目指して！
- ◎「得体の知れない土」を科学する！
- ◎交通インフラの健全度診断！

●卒業研究テーマ

- ◎降雨による斜面崩壊事前予測のために提案している、ADR-マイクロテンシオメーター (ADR-MT) 法によるモニタリングシステムの信頼性とプロファイリング
- ◎地盤汚染を伴う土中の物質移動に関するモニタリングシステムの開発とプロファイリング
- ◎下水道管の老朽化に伴う漏水による道路陥没のモニタリングシステムの開発とプロファイリング
- ◎多孔質体の水質浄化過程・機能のモニタリングシステム
- ◎緑化基盤土の植栽機能と環境緑化モニタリングシステム
- ◎土の物性とその工学的性質の関係
- ◎交通インフラの損傷・劣化度診断法の構築

●ゼミナール・テーマ

- ◎「得体の知れない土」を科学する！
- ◎「交通インフラ」を科学する！
- ・「野外環境調査」の実習！
- ・土とコンクリートに係わる「自由研究(基礎・応用実験、調査etc.)」！
- ・その他、ためになる課外活動！

●卒業研究、ゼミナール着手条件

興味のある方ならどなたでも大歓迎。

受入れ可能コース：ゼミナールは両コース、卒業研究はエンジニアリングコースのみ



下水道管の漏水による道路陥没の
プロファイリング



降雨による二層盛土斜面の崩壊実験



平成26年8月18日～20日卒研・ゼミ合宿
(日本大学塩原研修所にて)

地盤工学 研究室

峯岸邦夫 教授

山中光一 助教



平成26年度の学生構成は、大学院博士前期課程1年生が2名、卒研生（4年生）が10名、ゼミナール生（3年生）が10名の合計22名でした。

平成27年度は、当研究室OBの山中光一先生が助教として着任します。したがって、峯岸教授、山中助教の2名体制で研究・教育を進めていきます。

当研究室では、交通施設（鉄道、道路、空港、港湾などに関連する施設）の設計・建設に関わる地盤の力学的問題や新材料・新技術の開発、地盤構造物の維持管理に関わる諸問題について研究を行っています。

卒業研究では、継続研究の交通施設に関連する地盤や地盤材料の力学特性のほかに、舗装用に強化されたジオシンセティックス（土木用不織布）の耐久性および通水性能、製鋼スラグの有効利用、地盤の液状化に対する簡便式判定方法の提案に関する研究などを行います。

学生の動きとしては、昨年10月に（公社）地盤工

学会関東支部主催で行われたGeo-Kanto2013で大学院生の2人がそろって優秀論文発表者賞を受賞しました。また、昨年11月に同支部主催のソイルストラクチャーコンテスト（与えられた材料を用いて液状化対策工法を提案するコンテスト）に学部生5名が参加して、優秀液状化対策工法部門第2位を受賞しました。

また、地盤工学を研究する学生や研究者が集まり懇親を深める三上杯バレーボール大会と関東大学地盤研究室対抗ソフト大会に研究室全員で参加しました。他大学の学生や他研究機関の研究者達との情報交換、懇親を深めることができました。

●卒業研究テーマ

- ① 混合地盤材料の強度変形特性
- ② 強化ジオシンセティックスの耐久性および排水性評価
- ③ 製鋼スラグの地盤材料としての有効利用
- ④ 乱された関東ロームの力学特性

●ゼミナール・テーマ

- ① 地盤工学の成り立ち
- ② 交通地盤工学（交通施設の地盤工学）とは？
- ③ 大地震・集中豪雨等による地盤災害とその対策技術
- ④ 地盤構造物への新素材・新材料の利用
- ⑤ 地盤環境技術
- ⑥ 魅力あるアースデザイン
- ⑦ フィールド・トリップ（地盤の観察、現場見学など）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

卒業研究は地盤力学Ⅰ、Ⅱと地盤材料実験を履修（同時履修可）していることが望ましい。ゼミナールはとくになし。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



ゼミ合宿で訪れた中部横断城山トンネル工事現場
（平成26年9月・山梨県・身延町）

TOPICS 交通システム工学科配置図

4F	交通工学・計画演習室1 745B室 内線5228	交通工学・計画演習室2 745A室 内線5240	運輸交通計画研究室 轟 教授 川崎 助教 744室 内線5219	道路交通研究室 安井 准教授 池田 助教 743B室 内線5504	
	交通システム研究室 福田 教授 石坂 准教授 サティター 助手 739室 内線5355	交通環境研究室 藤井 教授 伊東 准教授 738室 内線6476	交通環境演習室 737室 内線5427	交通システム演習室 735室 内線5507	
2F	交通システム工学科 事務室 高梨・熊田・伊藤 7214室 内線5239	交通運輸講義 7213室	空間情報研究室 佐田 教授 江守 助教 7212室 内線8147	交通計画研究室 小早川 教授 稲垣 助教 7211室 内線5242	交通現象解析室 7210室
	道路マネジメント研究室 下川 教授 吉岡 助手 7111室 内線5503	基礎力学研究室 下辺 教授 齋藤 助教 7110室 内線5241	交通施設・社会環境 演習室1 719室 内線5523	交通施設・社会環境 演習室2 718室	地盤工学研究室 峯岸 教授 山中 助教 717室 内線5217

- 2号館：舗装・土質・応力系実験室（201）……………内線5418
- 測量実習センター……………内線5322
- 7号館：コンクリート・構造系実験室（704）……………内線5236
- 駿河台9号館：交通システム共通研究室（992A）03-3259-7976
- 社会基盤工学系実験 建設材料系……………内線5216
- FAX：03-3293-3667
- 地盤・舗装材料系……………内線5584

ダイヤルイン 047-469-(内線番号)

事務室 FAX：047-469-2581



マーライタム サティター 助手

My name is Sathita MALAITHAM. I come from Thailand. After graduating from KASETSART University I went to Kyoto University and graduated a PhD in Urban Management in September 2013. I have been working as post-doctoral fellow at Nihon University. And I start working as a research associate on April. I am very glad to meet all of you.

この4月より交通システム工学科の助手に就任しましたマーライタム サティターです。私は、KASETSART 大学工学部土木工学科を卒業後、本大学院工学研究科博士前期課程を修了しました。その後、京都大学大学院工学研究科に入学し、平成25年9月に都市社会工学専攻の博士後期課程を修了しました。大学院在籍中には交通流理論および交通工学のティーチング・アシスタントに3年間携わっていました。平成25年10月から日本大学理工学部ポスト・ドクトラル・フェロー (PD) として勤務しました。PD 在籍時の研究課題は、タイの首都バンコク都、および東北地域の中心としてあるコ

ンケンにおいて、プローブデータを活用した渋滞長の推計とハイブリッド車の燃費特性の分析でした。

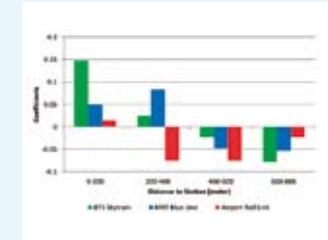
博士論文では、タイのバンコク首都圏における都市近郊鉄道ネットワーク「BTS スカイトレイン、MRT ブルーライン、エアポートリンク、および MRT パープルライン」の整備が都市構造に及ぼす影響を、土地利用変化、地価上昇、住宅立地選択の観点から分析しました。都市鉄道の整備が都市形態に与える影響を、多項ロジットモデルを適用して分析し、鉄道駅からの距離と、交通機関へのアクセシビリティや土地属性などとの関連を把握しました。整備後に、それらは高層住宅地用途への転換に対する影響が高いことを明らかにしました。その後、鉄道整備による影響範囲を地価および住宅立地選択に関連する都市鉄道開発の影響の存在に着目して分析しました。分析手法としては、観測地点ごとのモデル推計が可能な地理的加重回帰モデル

(GWR) およびランクオーダーネステッドロジットモデルを用いました。GWR モデルは適合度が高く、鉄道は地価に正の影響を与えていることを示しました。路線別では、BTS スカイトレインや MRT ブルーラインの開業後においては、地価が上昇しているのに対して、エアポートリンクでは駅周辺における地価の上昇は顕著ではないことを示しました。また、都市鉄道の整備と住宅立地選択には密接な関係があるが、その程度は、世帯属性や交通行動などによって異なっていることを明らかにしています。例えば、低所得者層は、MRT ブルーライン周辺への立地を望む傾向があるのに対して、中高所得者層は、BTS スカイトレイン周辺への立地を望む傾向があることを明らかにしています。

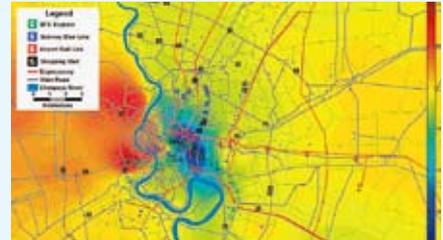
教員1年目で、まだ教育についてわからないことばかりですが、今後ともよろしく願います。



土地利用変化



地価上昇



地理的加重回帰モデル (GWR)



吉岡慶祐 助手

本年度より助手に就任させていただきますことになりました吉岡です。

2010年に名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程を修了した後、建設コンサルタントでの5年間の勤務を経て、このたび本学科にお世話になることとなりました。

私は、大学在学中・実務期間中ともに、道路交通に関連する業務・研究に携わってきました。大学在学中は、平面交差点の円滑性・安全性に関するテーマに取り組み、平面交差点の最適な制御方式の決定方法について研究しました。建設コンサルタントに入社後は、交通安全対策・渋滞対策など道路交通に関わる業務全般に関わってきました。具体的には、

交通安全対策の業務では、事故が多発する交差点において事故発生要因を分析し、それに応じた対策を提案するといった内容、また渋滞対策業務では、渋滞の要因を分析しシミュレーション等で対策の効果を予測するといった内容です。ほかに、ラウンドアバウトに関する調査業務や、分合流の多い首都高での案内標識の検討業務などにも従事しました。

私が大学から取り組んでいるテーマのひとつに「ラウンドアバウト」があります。2014年の道交法改正（環状交差点の指定）で注目が高まりましたが、大学で研究に取り組み始めた頃はまだまだ日本では認知度が低いものでした。当時は研究の補助という立場ではありましたが、調査・実験を通してラウンドアバウト導入にあたっての課題について研究し、実際にラウンドアバウトの整備にも結び

付く結果となりました。あらゆる工学に言えることだと思いますが、交通工学もまた、研究の成果が社会への貢献に直結する分野であり、そこが魅力のひとつではないかと思えます。

さて、この交通システム工学科は、文字通り「交通」が専門ということで、同じ志を持つ多くの先生方・学生の皆さんの中に入れていただけることを大変うれしく思っています。まだまだ未熟ですが、先生方・学生の皆様の少しでもお役に立てるように、努力したいと思っています。また、学生の皆さんに対しては、実務の経験も踏まえて、研究活動や就職活動の手助けになるようなアドバイスができればと思っています。

これから、どうぞよろしくお願いいたします。



市街地のラウンドアバウト (ドイツ: ケルン)



追突事故が多い箇所での事故対策の実施例



車線数が多い分流部での標識の検討例

平成26年度 博士論文・修士論文・卒業研究

修士論文

都市イメージの表現手法に関する基礎的研究 指導：天野光一教授	石川 柚希	地方部において中間速度層を実現するための道路構造の提案 指導：下川澄雄教授	野村 昭博
距離画像センサを用いた2車線道路と黒色車両に対応した車両検知に関する研究 指導：佐田達典教授	安藤 匠平	自動車が普及している発展途上国における公共交通機関整備方策に関する研究 指導：福田 敦教授	ポム マジャン ソーラシン
衛星電波遮蔽環境下におけるモバイルマッピングシステムの計測精度向上に関する研究 指導：佐田達典教授	岩上 弘明	ADR-MT法を用いた降雨によるモデル斜面崩壊実験および野外の水分移動プロファイリング 指導：下辺 悟教授	江澤 隆正
単独信号制御を高度化した新信号制御方式の提案に関する研究 指導：安井一彦准教授	恩田 千暖	動学SCGEモデルによる交通整備便益の動学乗数に関する研究 指導：福田 敦教授	東山 洋平
簡易型脳波測定器を活用したセグウェイツアーの意識評価に関する研究 指導：藤井敬宏教授	菅沼 崇	自転車の走行挙動と交差点での信号制御手法に関する研究 指導：安井一彦准教授	高橋 佑
車両挙動に着目した安全性向上のための出会い頭事故抑止制御に関する研究 指導：安井一彦准教授	高野 晃一	障がい者の旅行の実施に与える影響要因に関する研究 —障害種別を考慮して— 指導：藤井敬宏教授	薄葉 敦史
RGB単色光を利用したトンネルコンクリート壁面の変状計測に関する研究 指導：佐田達典教授	石森 章之	鉄道駅内に存在する商業施設への物資輸送方法の改善に関する研究 —CO ₂ 排出量の視点から— 指導：小早川 悟教授	村松 賢吾
子ども連れ世帯の外出抵抗の評価に関する研究 指導：藤井敬宏教授	庄子 美優紀	戦略的な交通・土地利用モデルを用いた低炭素社会の実現に向けた政策導入効果の推計に関する研究 指導：福田 敦	菊池 浩紀
商品価値の下落リスクを考慮した輸送手段選択モデルの構築 指導：轟 朝幸教授	岸 悠介		

卒業研究

<p>■ 交通景観研究室 (天野光一 教授・阿部貴弘 准教授) ……</p> <p>サイクリングイベントの魅力に関する基礎的研究 穂田 章吾</p> <p>ツアー商品における鉄道の魅力に関する基礎的研究 安部 康太郎</p> <p>青梅市内の多摩川の利用変遷に関する基礎的研究 岩澤 一徳</p> <p>D/Hが街路の印象に与える影響に関する基礎的研究 —建物一階部分の利用方法に着目して— 岩瀬 泰規</p> <p>鉄道駅の位置と市街化に関する基礎的研究 —高崎線沿線市街地を事例として— 原田 雄基</p> <p>コインパーキング (時間貸し平面駐車場) の景観配慮に関する基礎的研究 —伝統的建造物群保存地区に着目して— 藤田 涼平</p> <p>現代湯治の実態に関する基礎的研究 松林 玄</p> <p>景観施策の変遷に関する基礎的研究 —静岡県富士宮市を事例として— 三富 翔平</p> <p>まち歩きマップの特徴に関する基礎的研究 —ぶらり千葉の旅を事例として— 八幡 興平</p> <p>海外から見た東京の観光資源の魅力に関する基礎的研究 住谷 直哉</p> <p>■ 環境工学研究室 (岩井茂雄 教授) ……</p> <p>竹チップを混合した土系舗装の締固めおよび透水係数に及ぼす竹チップ混合率の影響 長塚 弘士、中島 健太</p> <p>コルクを混合した地盤材料の減衰効果に及ぼすコルク混合率の影響 植田 将史</p> <p>2層構造路床の弾性係数に及ぼす改良厚さの影響 中嶋 圭佑</p> <p>屋外の走行競技に用いる可搬型表層の開発 山田 徹</p>	<p>透水性アスファルト混合物の熱伝導係数に空隙率が及ぼす影響について 伊藤 雅弥</p> <p>平均有義高さをを用いた路面粗さの評価に関する研究 坪井 拓磨</p> <p>構造力学の学習支援補助教材の構築 —モールの応力円に注目して— 須山 亮【中山晴幸】</p> <p>■ ウォーターフロントデザイン研究室 (岡田智秀 教授) ……</p> <p>津波を対象とした「事前復興」に関する基礎的研究 —既往の知見にみる「事前復興」の留意点等— 遠藤 剛</p> <p>津波を対象とした海岸防災施設の計画配慮事項に関する研究 —津波防災緑地に着目して— 谷中 勇輝</p> <p>多様な地域的価値を育む海岸防災施設のあり方に関する研究 —(その1)「広村堤防」造成の背景と津波防災教育の実態に着目して— 田部 望実</p> <p>多様な地域的価値を育む海岸防災施設のあり方に関する研究 —(その2)「広村堤防」と地元住民との関わりからみた津波防災意識に着目して— 齋藤 陽介</p> <p>視点場の高低差に着目した山岳の景観評価に関する研究 —(その1)岐阜県恵那市大井町土ヶ根・岡瀬沢地区を対象として— 峰 暢志</p> <p>視点場の高低差に着目した山岳の景観評価に関する研究 —(その2)写真集の評価傾向と地区住民の評価結果との比較考察— 安田 峻</p> <p>農村景観保全のための「コンパクトファーム」の提案と実現化方策に関する研究 —(その1)現行法制度分析および行政ヒアリングを通じて— 柴田 響</p> <p>農村景観保全のための「コンパクトファーム」の提案と実現化方策に関する研究 —(その2)農業従事者ヒアリングを通じて— 小泉 雄大</p>
--	--

わが国のウォーターフロントにおける水面夜景の演出に関する研究
—(その1) 明治から昭和にみる浮世絵版画を対象として—

島根 亘

わが国のウォーターフロントにおける水面夜景の演出に関する研究
—(その2) 現代人を対象とした浮世絵版画に対する印象に着目して—
大塚雄太

■ 交通計画研究室 (小早川 悟 教授) ……………

大規模災害時における救援物資集積所および避難所のアクセシビリティに関する研究
渡部晃平

大規模災害時の一次集積所における荷さばき方法に関する研究
—東日本大震災を事例に—
大平玲央

東京都市圏における貨物車の運行実態の分析
—圏央道相模原愛川IC～高尾山ICに着目して—
伊藤侑貴

巡回貨物車に着目した路上駐車実態分析
山口悠太

道路幅員別にみた路上駐車実態の分析
—東京都中央区を対象として—
弥栄将弘

信号交差点における自転車交通の発進挙動に関する研究
青山恵里

交差点部における交通現象からみた交通事故分析
—千葉県千葉市の坂月交差点を対象に—
平田貴紀【森田緯之】

千葉県鎌ヶ谷市東初富地区における交差点ハンプの持続性に関する研究
中村宗平

小学校区別にみた子供の交通事故の発生状況と事故対策に関する研究
—千葉県船橋市を対象として—
坂 祐樹

住民発意型ゾーン30の導入による影響に関する研究
藤田萌樹

子どもの道路横断判断に関する情報提供による影響の考察
山根佑太

誘導ブロックが車椅子とベビーカーに与える影響に関する研究
新家千晴

■ 空間情報研究室 (佐田達典 教授) ……………

モバイルマッピングシステムによる点群データの分布状況を考慮した調整用基準点の設置方法
岡本直樹

モバイルマッピングシステムの3次元点群データを利用した法線ベクトルによる路面変状抽出
磯貝 潤

モバイルマッピングシステムを用いた広告看板と標識の抽出に関する研究
寺浦純輝

モバイルマッピングシステムを用いた歩道の交差点部バリア検出についての研究
大熊敦士

モバイルマッピングシステムによる点群データを用いた地震時の街路閉塞に関する研究
高久和佳

距離画像センサを用いた歩行者検知のための黒色検知に関する研究
西藤弘樹

走行撮影によるコンクリートひび割れ検出に関する研究
森岡春樹

高精度衛星測位と3次元道路空間データを用いた運転者の運転特性に関する研究
柁田晃弘

衛星測位における衛星の方位角による電離層遅延の評価に関する研究
西澤陽平

準天頂衛星信号による移動時の測位精度向上効果に関する研究
樋渡竜太

■ 道路マネジメント研究室 (下川澄雄 教授・江守 央 助教)

東京都区部を通過する海上コンテナ車の走行実態に関する分析
内田賢宏、木村嘉孝

道路のサービス水準の面的評価手法の提案とその適用性に関する考察
大川拓也

一般道路の道路構造と旅行速度の関係性に関する分析
川本知加【森田緯之】

地方部の平地部2車線道路におけるサービス速度に関する分析
櫻井慎一郎【森田緯之】

通行機能が期待される一般道路6車線区間における車線利用特性に関する分析
山口敬輔【森田緯之】

都市間連絡における高速道路のアクセス状況に関する分析
横堀雄典

高速道路の整備による生鮮野菜の分散化・広域化に関する新たな考察
倉持竜海

浜名湖SAを活用した遊覧船利用者の特性と事業継続のための課題分析
渡瀬貴明

松戸市におけるIADLを用いた高齢者の買い物支援に関する分析
土田雅貴

階層分析法を用いた文化遺産に対するアクセシビリティ整備意識に関する研究
—鎌倉の文化財を対象に—
星野 謙、細川 翔

視覚障害者誘導用ブロックの形状変更による効果に関する研究
三村祐太

■ 基礎力学研究室 (下辺 悟 教授・齊藤準平 助教) ……………

斜面防災・減災のための室内・野外プロファイリングシステムの構築と評価
坂巻智大、関修一朗

ADR-MT法を用いたNAPL浸潤過程のモニタリングプロファイリングに関する基礎的研究
後藤翔太、陣野重耶

下水道管の老朽化に伴う管頂からの漏水を起因とした道路陥没のモニタリングプロファイリングに関する基礎的研究
池田隆人、池田泰大

多孔質材料の除塩機能に関するモニタリング
桑原正行、山下裕太

在来低木を用いた法面緑化モニタリングの実証実験に関する基礎的研究
白石駿一

船橋校舎における地盤表層水分状況のワイヤレスセンサーネットワークの構築に関する基礎的研究
—7号館前広場の計測土層を事例として—
塩谷佳昌

土質計測用プローブの挿入特性に関する基礎的研究
佐藤洋介

ひび割れを有するコンクリートの塩分浸透特性に関する基礎的研究
—ひび割れ周囲の塩分濃度分布について—
大崎意、宮澤啓佑

■ 運輸交通計画研究室 (轟 朝幸 教授・川崎智也 助教) ……………

輸送手段の転換コストに対する荷主の意識の分析
青山大輝

水上飛行機導入の交通手段選択確率の推定
阿川洋平

内航クルーズ船の寄港パターン分析
井口賢人

物流施設の立地確率に対する地方自治体の補助金政策の影響
江嶋 諒

成田国際空港におけるバードストライク対策の効果に関する研究
小石川拓也

AISデータを用いた船舶の動静分析
堂崎達也

経路検索実績データを用いた深夜急行バス利用者の短期的需要予測
八野真大

広域災害時の航空機救助活動における空港運用の検討
—南海トラフ発生時の高知県を対象として—
古川詩乃

中学生を対象としたスクエアード・ストレイト自転車交通安全教室の効果
牧野悠輔

過疎地域におけるポストバスの運営方法の検討 横関敬裕
 西日本発米国向けコンテナ貨物の母船積出港選択傾向の分析 李 鳳秋
 降雨による公共交通の利用状況の差異に関する研究 兒玉紀之
 一土佐電気鉄道のICカードデータを用いて一
 深夜急行バス利用要因の分析 苗 明星

■ 交通システム研究室 (福田 敦 教授・石坂哲宏 助教) ……
 一般道路曲線部における速度低下に関する研究 出村康作
 プローブ走行軌跡データを用いた渋滞長推計に関する研究 松本和也

プローブ走行軌跡データを用いた非定周期信号の現示切替時刻の推定に関する研究 渡邊康太郎

車内ディスプレイを用いた残り赤時間提供による運転挙動の変化に関する研究 董 一卓
 一ドライビング・シミュレーターによる室内実験を通して一

コーストダウン試験により推計したVSPと燃料消費量の関係性に関する分析 福室恵子

市民協働レポートにおける道路不具合情報と現状との相違点に関する研究 鶴田 純
 一千葉レボを対象として一

ベトナム・ダナン市におけるBRT導入効果に関する研究 島山晃穂

新潟都市圏におけるCA指標を用いたアクセシビリティの評価 土屋祐太

超小型モビリティの運用に向けた道路の段階構成の検討 今井一哉
 一多摩ニュータウンを対象として一

二輪車混入によるラウンドアバウトのクリティカルギャップへの影響に関する研究 森町夏樹
 一タイ・コンケン大学キャンパス内のラウンドアバウトを対象として一

交通安全対策に向けた急ブレーキ・ヒヤリ・交通事故データの特性把握と活用可能性に関する研究 手塚貴大

■ 交通環境研究室 (藤井敬宏 教授・伊東英幸 助教) ……
 簡易型脳波測定器を用いたセグウェイユーザーの意識評価 築瀬 剣
 一走行環境に着目して一

住民協働型デマンドタクシーの運営改善に関する検討 小林将哉
 一千葉県市原市養老・戸田地区を例として一

武蔵村山市におけるコミュニティバスのルート再編が及ぼす影響評価に関する研究 岸川宏一

集合住宅における高齢者の身体活動に影響を与える近隣歩行環境に関する研究 岡本真幸
 一習志野台団地を対象として一

特別支援学校における修学旅行の決定要因に関する研究 今井 稔【田中絵里子】
 一障害種別を考慮して一

中国人留学生の観光行動に関する研究 黄 佚豪【田中絵里子】
 一東京都23区の日本語学校に着目して一

東京23区における幹線道路の違法路上駐車に関する研究 豊田啓介
 一昭和通りを例として一

新地盤材料および廃棄物をリサイクルした盛土工法のLCAによる比較分析 野口英朗【峯岸邦夫】

生物に対する好嫌性を考慮した建築物敷地内歩行空間における緑地評価 小関健太郎

国道44号を対象としたエゾシカの飛び出しによる事故発生地点の分析 竹村 峻

わが国の道路整備事業における生物多様性オフセットの実態分析 西島 潤
 一環境影響評価法適用の道路整備事業に着目して一

トラベルコスト法を用いた都市内緑地における生態系サービスの社会経済評価 坂本侑亮
 タイ・コンケン市の都市化による自然環境への影響評価 渡部圭次

■ 地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授) ……
 発泡ビーズ混入地盤材料の力学的特性に及ぼす養生条件の影響 野田遼斗

高機能舗装用多層構造ジオシンセティックスの耐久性および通水性性能評価 小高秀登、松田千咲

石灰安定処理を施した関東ロームの支持力特性に及ぼす初期含水比と攪拌時間の影響 土屋亘平

製鋼スラグを混合した関東ロームの力学的特性 小嶋真典、竹之内孝太

面状補強材を混合した粘性土の力学的特性に及ぼす補強材混入率の影響 富田 舜、中嶋優歩

関東ロームを用いた短繊維混合補強土の力学的特性に及ぼす補強材形状の影響 大塚寛之

万葉線沿線の地盤の成り立ちと車体上加速度計測データとの関係について 星川大貴【中山晴幸】

■ 道路交通研究室 (安井一彦 准教授) ……

自転車走行時における通行位置に関する実態分析 及川玄太、鈴木 航
 一歩道幅員と路肩幅員に着目して一

信号交差点における自転車の走行挙動に関する研究 末吉佳菜

信号交差点の横断歩道における横断歩行者挙動に関する研究 小笠原淳平

試験走行法を用いた一時停止交差点における車両の停止挙動の実態把握 神戸雄太

信号交差点における無駄青時間の実態把握についての研究 坂口雄太郎

大規模信号交差点におけるクリアランス時の車両挙動の把握と出会い頭事故防止のための信号制御の提案 直井隆祐

都市内高速道路における実交通状況に基づくTraffic viewの再現性に関する研究 高澤宗一郎

昼夜における自動車の実勢速度に関する研究 中村健人

千葉県の交通事故多発交差点の分析と改善案に関する研究 池 豪忠

■ 情報工学研究室 (中山晴幸 専任講師) ……

構造力学を学ぶための補助教材の開発 竹田悟朗

GPSロガーを利用した観光客の行動調査 澤 昭友

東京都区内における乗客が利用した交通機関をGPSデータから推測するシステム 清水翔太

万葉線LRV上の乗換案内システム 春山浩輝

首都圏の鉄道施設における外国人観光旅客向けの案内情報に関する調査 大橋純平

東京都心における鉄道乗換経路案内システムの構築 吉江和洋

運転疲労に関する基礎的研究 小松隼佑

長距離トラックドライバーの運行実態調査 有坂 翔
 車体上加速度による万葉線軌道情報評価システムの開発 柴田吉輝
 列車通過時のレール変形による軌道の力学的特性評価 濱田 卓

研究業績

2014. 4. 1~2015. 3. 31

掲載誌・出版元 題目・作品名・書名 教員名など 発表年月

環境工学研究室 (岩井茂雄 教授・山中光一 助手)

■著書

実教出版	文科省検定教科書『土木施工』pp.1-319	岩井茂雄 (監修・編集・代表著者)	14年3月
(一社)日本道路建設業協会	平成26年度舗装施工監理技術者技術講習テキスト pp.1-215	岩井茂雄(監修・編集)	14年7月

■口頭発表

(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	平成25年度継続教育実施委員会活動の報告	岩井茂雄 尾高義夫	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	震災がれきを用いた高減衰性能を有する新しい地盤材料の開発及び実用化に関する研究	酒匂教明 下村幸男 佐藤秀人 岩井茂雄 深津 誠	14年9月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	コルクを混合した地盤材料の減衰効果に及ぼすコルク混合率の影響	植田将史 山中光一 岩井茂雄	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	竹チップを混合した土系舗装の締固めおよび透水係数に及ぼす竹チップ混合率の影響	長塚弘士 山中光一 岩井茂雄	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	平均有義高さによる路面粗さの評価の提案	坪井拓磨 山中光一 岩井茂雄	15年3月

交通計画研究室 (小早川 悟 教授・稲垣具志 助教)

■著書

(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズA-610	大規模災害時の救援物資輸送のための総合交通対策に関する研究	小早川悟 (編著)	14年10月
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズA-616	モータリゼーションの動向と道路空間の有効利用	高田邦道 (編著) 小早川悟 稲垣具志 ほか著	15年1月

■審査論文

交通工学 (49巻2号) pp.4-7	交通工学の視点からみたこれからの物流対策の課題 —全体最適化の考え方から—	小早川悟	14年4月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会論文集 pp.527-530	自転車の信号交差点発進挙動に関する基礎的分析	稲垣具志 小早川悟 青山恵里 松原 淳	14年8月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会論文集 pp.89-92	通学路における児童の交通事故発生状況の分析 —千葉県船橋市・松戸市・市川市を対象として—	樋口忠一 小早川悟 稲垣具志	14年8月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会論文集 pp.667-672	家用貨物車と営業用貨物車の駐車・荷捌き特性に関する分析 ～丸の内地区での駐車・荷捌き実態調査を通じて～	岩尾詠一郎 長田哲平 小早川悟	14年8月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (70巻5号) pp.I_829-I_836	バス専用通行帯規制区間における二輪車の通行方法に関する認識状況分析	稲垣具志 小早川悟 関根太郎 中村文彦 福田 敦 清水健造 高田邦道	14年12月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (70巻5号) pp.I_859-I_868	ヒヤリハット分析に基づいた自転車通行方法の安全性評価に関する研究 —ドライブレコーダーデータを活用した錯綜状況の定量化—	佐々木諒 稲垣具志 大倉元宏	14年12月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (70巻5号) pp.I_933-I_941	生活道路における地区関係者と抜け道利用者の走行速度比較分析	稲垣具志 寺内義典 橋 たか 大倉元宏	14年12月

■口頭発表

(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	東日本大震災時の救援物資輸送における一次集積所の実態分析 —宮城県を対象として—	長田哲平 後岡寿成 小早川悟	14年6月
(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	広域災害時における災害時応援協定の効果的な締結方法について	後岡寿成 長田哲平 小早川悟	14年6月
(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	視覚障害者の交差点横断支援性を担保する生活道路安全施設の仕様要件に関する研究	稲垣具志 大倉元宏	14年6月

(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	簡易な調査票を用いた子どもの日常的な行き先とよく使う道に関する調査 —幹線道路が横断する学区を対象として—	山田敦基 稲垣具志	寺内義典 橋 たか	14年6月
第50回日本交通科学学会総会・学術講演会	操作姿勢が二つのペダルの踏み間違いに及ぼす影響	比企直樹 大倉元宏 細野直恒	松尾将平 稲垣具志	14年6月
第23回視覚障害リハビリテーション研究発表大会	視覚障がい者の駅プラットフォーム単独移動における困難な条件や状況	高部友樹 稲垣具志	田山悦男 大倉元宏	14年7月
5th International Conference on Applied Human Factors and Ergonomics	Research on identifying LED blocks mounted on crosswalk boundaries for persons with visually impairment	Shoichiro FUJISAWA, Norihiro IKEDA, Kazuya TAKAHASHI, Tomoyuki INAGAKI, Katsuya SATO, Shin-ichi ITO, Motohiro SEIYAMA		14年7月
第17回O&M勉強会	全盲者の交差点横断を支援するための生活道路安全施設の仕様要件に関する考察	稲垣具志		14年7月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会	自転車の信号交差点発進挙動に関する基礎的分析	稲垣具志 青山恵里	小早川梧 松原 淳	14年8月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会	通学路における児童の交通事故発生状況の分析 —千葉県船橋市・松戸市・市川市を対象として—	樋口恵一 稲垣具志	小早川梧 稲垣具志	14年8月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会	自家用貨物車と営業用貨物車の駐車・荷捌き特性に関する分析 ～丸の内地区での駐車・荷捌き実態調査を通じて～	岩尾 詠一郎 長田哲平	小早川梧	14年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会研究討論会	これからの時代の空間づくりを考える (その2) —誰のための情報? その方法でよいのか?—	原 利明 永幡幸司	矢野喜正 稲垣具志	14年8月
第31回物流学会全国大会	エキナカ商業施設における物資輸送活動に関する研究	村松賢吾 稲垣具志	長田哲平 小早川梧	14年9月
(公社)土木学会 第50回土木計画学研究発表会	生活道路における子どもの横断判断特性に関する実験的考察	稲垣具志 大倉元宏	寺内義典	14年11月
第15回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会	横断歩道口用発光ブロックの識別に関する研究	清山幹弘 藤澤正一郎 伊藤伸一 池田典弘	志賀大輔 佐藤克也 稲垣具志 高橋和哉	14年12月
第20回O&M勉強会	視覚障害者の交差点横断における横断歩行口の課題と新しい支援手法の提案	稲垣具志		15年1月
超高齢社会の社会インフラと交通に関する国際セミナー	【視覚障害者の歩行空間】交差点横断支援のための歩行空間デザインに関する研究	稲垣具志		15年1月

■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

(公社)日本交通政策研究会 みちプラザ (No.033)	女性の交通研究者の活躍を	小早川梧		14年5月
TBS「ひるおび」	高速道路の逆送問題	小早川梧		14年9月
TBS「Nスタ」ニュースアイ	ストレス車両に悲鳴 どうする危険な抜け道	稲垣具志		14年10月
(一財)日本交通安全教育普及協会 「交通安全教育」No.583 pp.6-16	特集 子どもの道路横断判断の特性と安全対策の課題 ～生活道路における実験を通して～	稲垣具志		14年11月
ニコニコ動画「タマドウ」 (二子玉川情報バラエティ番組)	玉川ゾーン30のはなし	稲垣具志		15年3月

空間情報研究室 (佐田達典 教授・池田隆博 助手)

■著書

(株)エヌ・ティー・エス	自動車オートパイロット開発最前線 —要素技術開発から社会インフラ整備まで— 第6章第1節 モバイルマッピングによる道路構造物の点群解析手法	佐田達典 船戸智也		14年5月8日
--------------	---	--------------	--	---------

■査読論文

応用測量論文集 (25巻) pp.115-124	モバイルマッピングシステムによる3次元計測精度検証実験	岩上弘明 佐田達典	石森章之 石坂哲宏	14年6月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3 (土木情報学) (70巻2号)	複数測位信号によるマルチパス検知と高精度測位時の精度に関する研究	池田隆博	佐田達典	15年3月

(公社)土木学会 土木学会論文集F3 (土木情報学) (70巻2号)	投光器の照射角度と陰影の幅を利用したコンクリート壁面の段差高計測に関する研究	石森章之 塩崎正人	佐田達典	15年3月
■口頭発表				
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	投光器の照射角度を利用した変状サイズの計測手法に関する研究	石森章之 佐田達典	塩崎正人 石坂哲宏	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	距離画像センサを用いた車両走行速度計測のための撮影条件の検討に関する研究	安藤匠平 石坂哲宏	佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	高精度静止測位における準天頂衛星の併用効果に関する研究	池田隆博	佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	衛星電波遮蔽環境下におけるモバイルマッピングシステムの測位精度向上に関する検証実験	岩上弘明 石坂哲宏	佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	自動二輪車専用レーンの幅員の違いが自動二輪車の走行挙動に与える影響の分析	小川達也 佐田達典	石坂哲宏	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	高精度GPSを活用した横断歩行者回避時の走行挙動に関する研究	今村一紀 佐田達典	石坂哲宏	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	MMSの点群データを用いた可視領域定量化による交差点の見通し評価に関する研究	船戸智也 石坂哲宏	佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第39回土木情報学シンポジウム	照明と画像を利用したコンクリート壁面の段差高計測に関する基礎的研究	石森章之 塩崎正人	佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第39回土木情報学シンポジウム	距離画像センサによる3次元データの平面投影を用いた車両検出	安藤匠平 石坂哲宏	佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第39回土木情報学シンポジウム	複数測位信号を用いたマルチパス検知と高精度測位の測位率に関する研究	池田隆博	佐田達典	14年9月
GPS/GNSSシンポジウム2014研究発表会	移動時の単独測位におけるGPSとQZSSの併用効果	樋渡竜太 佐田達典	池田隆博	14年10月
(公社)土木学会 第50回土木計画学研究発表会	距離画像センサによる2車線道路の交通量計測に向けた撮影条件の検討	安藤匠平 佐田達典	石坂哲宏	14年11月
Trimble Dimensions 2014	Extraction of Road Structure Data and Evaluation of Road Alignment using Point Cloud Data of Mobile Mapping System	Tatsunori Sada		14年11月
日本写真測量学会 平成26年度秋季学術講演会	複数衛星系による測位信号を用いた誤差電波検知手法に関する研究	池田隆博	佐田達典	14年11月
第58回日本大学工学部学術講演会	LED投光器の照射角度を利用したコンクリート壁面の段差高計測に関する研究	石森章之	佐田達典	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	モバイルマッピングシステムを用いた路面形状抽出に関する研究	磯貝 潤 池田隆博	佐田達典	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	モバイルマッピングシステムで取得される点群データの分布状況	岡本直樹 池田隆博	佐田達典	14年12月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)				
(公社)日本測量協会 「月刊測量」 2014年6月号	テクニカル・レポート GPSとGLONASSを用いた高精度測位における利用衛星の選択効果	池田隆博	佐田達典	14年6月
JACIC情報 (29巻1号) pp.5-11	社会資本の維持管理におけるセンサ利用と標準化	佐田達典		14年7月
土木学会誌 (100巻1号) pp.26-27	GPSからGNSSへ —複数の衛星測位システムを併用した測位技術の進展—	佐田達典		15年1月

道路マネジメント研究室 (下川澄雄 教授・江守 央 助教)

■著書

国際ユニヴァーサルデザイン協議会	UD検定中級テキスト 第6章交通バリアフリー制度からみた公共交通・道路等のUD、公共空間の移動のUDと事例	江守 央 ほか 国際ユニヴァーサルデザイン協議会 編		14年11月
------------------	---	-------------------------------	--	--------

■審査論文

(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会論文集	一般道路の道路構造が旅行速度に及ぼす影響に関する実証的分析	下川 澄雄 森田 緯之 小山田直弥		14年8月
交通工学論文集 (第1巻第2号(特集号A)号) pp.A_19-A_25	一般道路の道路構造が旅行速度に及ぼす影響に関する実証的分析	下川 澄雄 森田 緯之 小山田直弥		15年2月

■口頭発表

(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	道路ネットワークにおける中間速度層の意義と適用範囲	下川澄雄 森田緯之 土屋克貴		14年6月
----------------------------	---------------------------	-------------------	--	-------

(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	種級区別サービス速度の実態分析 —第3種道路を中心として—	野村昭博 下川澄雄 森田緯之	14年6月
(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	新たな時代のバリアフリー 整備の理念構築 2 —移動が保障される生活環境を考える—	横山 哲 山田 稔 竹田 保 江守 央 吉田 樹 秋山哲男	14年6月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会	一般道路の道路構造が旅行速度に及ぼす影響に関する実証的分析	下川 澄雄 森田 緯之 小山田直弥	14年8月
日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会	歩道の段差通過時におけるセグウェイ搭乗者の安全性に関する研究	菅沼 崇 江守 央	14年8月
(公社)土木学会 第50回土木計画学研究発表会	日本における拠点設定と効率的な拠点間連絡を実現する階層型道路計画の枠組み	後藤 梓 中村英樹 下川澄雄 喜多秀行 内海泰輔	14年11月
第58回日本大学理工学部学術講演会	都市間連絡における高速道路のアクセス状況に関する分析	横堀雄典 下川澄雄 江守 央	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	東京都心部における海上コンテナ車の走行実態に関する分析	内田賢宏 木村嘉孝 下川澄雄 江守 央	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	東名高速道路浜名湖SAを活用した遊覧船利用者の特徴分析	渡瀬貴明 下川澄雄 江守 央	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	松戸市における高齢者の買物支援に関する分析 —超小型モビリティ利用を想定として—	土田雅貴 江守 央 下川澄雄	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	一般道路の道路構造と旅行速度の関係性に関する分析	川本知加 下川澄雄 森田緯之 江守 央	14年12月
超高齢社会の社会インフラと交通に関する国際セミナー	ヨルダンにおけるバリアフリーに向けた人材育成	秋山哲男 鈴木立人 Catherine Sarah Holloway 山田 稔 三星昭宏 稲垣具志 吉田 樹 北川博巳 猪井博登 森 和也 別府知哉 沢田大輔 竹島恵子 江守 央	15年1月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	道路のサービス水準の面的評価手法の提案とその適用性に関する考察	大川拓也 下川澄雄 江守 央	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	東京都区部を通過する海上コンテナ車の走行実態に関する分析	内田賢宏 木村嘉孝 下川澄雄 江守 央	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	一般道路の道路構造と旅行速度の関係性に関する分析	川本知加 下川澄雄 森田緯之	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	地方部の平地部2車線道路におけるサービス速度に関する分析	櫻井慎一郎 下川澄雄 森田緯之	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	通行機能が期待される一般道路6車線区間における車線利用に関する分析	山口敬輔 下川澄雄 森田緯之	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	都市間連絡における高速道路のアクセス状況に関する分析	横堀雄典 下川澄雄 江守 央	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	浜名湖SAを活用した遊覧船利用者の特性と事業継続のための課題分析	渡瀬貴明 下川澄雄 江守 央	15年3月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	通行機能が期待される都市内多車線道路における緩速車線を用いた交通運用策の提案	土屋克貴 下川澄雄 江守 央	15年3月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）			
(公社)日本河川協会 「河川」 No.814 pp.52-58	浜名湖SAを活用した舟運による減災・地域振興に関する実証実験結果について	下川澄雄	14年5月
静岡新聞	修善寺駅周辺の交通問題解決へ	下川澄雄	14年9月5日
NHK WORLD NEWSLINE	ROUNDABOUT SOLUTION	下川澄雄	14年10月

基礎力学研究室（下辺 悟 教授・齊藤準平 助教）

■審査論文

日本大学理工学部理工学研究所 研究ジャーナル（132号）pp.10-20	ひび割れを有するコンクリートの拡散係数評価式への塩分浸透影響範囲の適用効果	齊藤準平 下辺 悟	14年6月
コンクリート工学年次論文集 （36巻1号）pp.940-945	ひび割れを有するコンクリートのひび割れ垂直方向への塩分浸透に関する実験的検討	齊藤準平 下辺 悟	14年7月
(公社)地盤工学会 第59回地盤工学シンポジウム論文集 pp.41-44	老朽化した下水道管破損部からの漏水による道路陥没のモニタリング手法に関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 川口廣起	14年11月

(公社)地盤工学会 第59回地盤工学シンポジウム論文集 pp.485-490	ADR-MT法を用いた土中の物質移動のモニタリング手法によるプロファイリングに関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 小野 亮	14年11月
(公社)地盤工学会 第59回地盤工学シンポジウム論文集 pp.519-526	土の誘電率～含水量関係とモニタリング地盤環境工学への適用	下辺 悟 齊藤準平	14年11月
■口頭発表			
(公社)地盤工学会 第49回地盤工学研究発表会	混合地盤材料の路床弾性係数に及ぼす改良厚さの影響	峯岸邦夫 山中光一 下辺 悟	14年7月
(公社)地盤工学会 第49回地盤工学研究発表会	土の誘電率～含水量関係のキャリブレーション	下辺 悟 齊藤準平	14年7月
(公社)地盤工学会 第49回地盤工学研究発表会	下水道管の老朽化に伴う漏水を起因とした道路陥没のモニタリング手法に関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 長谷川宗徳 川口廣起 秋元 佑介	14年7月
(公社)地盤工学会 第49回地盤工学研究発表会	大型土壌カラムを用いたNAPL浸潤過程のモニタリング手法によるプロファイリングに関する基礎的研究	下辺 悟 齊藤準平 原口大輔 小野 亮	14年7月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	ひび割れを有するコンクリートの塩分浸透範囲と拡散係数評価式へのその適用	齊藤準平 小野 亮 下辺 悟	14年9月
(公社)地盤工学会 第11回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2014)	ADR-MT法を用いた実斜面における水分移動のモニタリング結果について	下辺 悟 齊藤準平 江澤隆正	14年10月
第58回日本大学理工学部学術講演会	ひび割れを有するコンクリートのひび割れ面からの塩分浸透分布	齊藤準平 下辺 悟	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	在来種植物を用いた法面緑化モニタリングの実証実験に関する基礎的研究	下辺 悟 中村直純 白石駿一 齊藤準平	14年12月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	ひび割れを有するコンクリートの塩分浸透特性に関する基礎的研究 —ひび割れ近傍の濃度分布について—	齊藤準平 宮澤啓佑 下辺 悟 大崎 意	15年3月

運輸交通計画研究室 (轟 朝幸 教授・川崎智也 助教)

■審査論文

日本物流学会誌 (22巻) pp.141-148	コンテナ荷動き量に対する経済指標の影響の持続性	川崎智也 松田琢磨	14年6月
Maritime Economics & Logistics (Accepted 巻)	Containerization of bulk trades: A case study of US-Asia wood pulp transport	Kawasaki, T, Matsuda, T.	14年6月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会 論文報告集 (CD-ROM)	デマンド型乗合タクシーにおけるイールドマネジメント導入の影響	川崎智也 轟 朝幸 西山翔太郎	14年8月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会 論文報告集 (CD-ROM) pp.479-500	状態空間モデルを用いた公共交通利用者数の変動特性に関する分析 —土佐電気鉄道利用者を対象として—	西内裕晶 小林康之 川崎智也 轟 朝幸	14年8月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (70巻 5号) pp.645-654	深夜急行バスを対象とした短期的需要予測に基づく配車計画の検討	川崎智也 轟 朝幸 岩崎哲也 西内裕晶	14年12月
(公社)土木学会 鉄道工学シンポジウム論文集 (Vol. 18巻) pp.163-169	ICカードデータを活用した降雨による公共交通利用者数の行動変化に関する基礎的分析	西内裕晶 佐野可寸志 轟 朝幸	14年12月
TRB 94th Annual Meeting Compendium of Papers, online	Evaluation of Public Transport Transfer Nodes by Data Envelop Analysis Approach Using Smart Card Data	Hiroaki Nishiuchi, Tomoyuki Todoroki, Tomoya Kawasaki	15年1月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (特集号) (1巻 2号)	デマンド型乗合タクシーにおけるイールドマネジメント導入の影響	川崎智也 轟 朝幸 西山翔太郎	15年2月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3 (土木情報学) (70巻 2号)	ベイジアンネットワークを用いた都市内高速道路における突発事象検知モデルの構築	野村大智 西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也 割田 博	15年3月
日本交通学会 交通学研究2014年度研究年報 (58巻)	生存時間分析を用いた路面電車の利用者数の変化に関する研究 —土佐電気鉄道を対象として—	西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也	15年3月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	抽選型報奨金制度導入による鉄道利用者の時差通勤の有効性	川崎智也 轟 朝幸 小林聡一	14年6月

(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	東日本大震災前後の荷主の行動データを用いたコンテナ輸出事業継続性の分析	安倍智紀 川崎智也 轟 朝幸 松田琢磨	14年6月
ISTS '14 and IWTCDs '14	A Fundamental Study on Evaluation of Public Transport Transfer Points by Data Envelop Analysis Approach using Smart Card Data	Hiroaki Nishiuchi, Tomoyuki Todoroki, Yusuke Kishi	14年7月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会	デマンド型乗合タクシーにおけるイールドマネジメント導入の影響	川崎智也 轟 朝幸 西山翔太郎	14年8月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会	状態空間モデルを用いた公共交通利用者数の変動特性に関する分析 —土佐電気鉄道利用者を対象として—	西内裕晶 小林康之 川崎智也 轟 朝幸	14年8月
(公社)土木学会 第39回土木情報学シンポジウム	ベイジアンネットワークを用いた都市内高速道路における突発事象検知モデルの構築	野村大智 西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也 割田 博	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	ICカードデータを用いた公共交通利用者の滞在時間へ与える影響要因に関する基礎分析	西内裕晶 塩見康博 轟 朝幸 佐野可寸志	14年9月
(一社)交通工学研究会 第73回日本交通学会研究報告会	生存時間分析を用いた路面電車の利用者数の変化に関する研究 —土佐電気鉄道を対象として—	西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也	14年10月
7th International Conference of Asian Shipping and Logistics	Characteristics of Cargo Items Shifted between Maritime and Air Transport -Case Study along the China-US Route-	Kawasaki, T, Todoroki, T, Matsuda, T.	14年11月
7th International Conference of Asian Shipping and Logistics	An Essay on the Bulk Cargo Containerization -The Ferrous Scrap Trade in Transpacific Westbound-	Matsuda, T, Kawasaki, T.	14年11月
(公社)土木学会 第50回土木計画学研究発表会	混雑車両への課金によるプラットホーム上の混雑緩和効果の計測	安倍智紀 川崎智也 西内裕晶 轟 朝幸	14年11月
(公社)土木学会 第50回土木計画学研究発表会	水上飛行機導入による交通手段選択確率の推定	黒崎実布由 轟 朝幸 川崎智也	14年11月
(公社)土木学会 第50回土木計画学研究発表会	検知遅れの解消を目指したベイジアンネットワークによる突発事象検知モデルの構築	野村大智 西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也 割田 博	14年11月
第21回鉄道技術・政策連合シンポジウム	混雑車両への課金による鉄道利用者の車両選択行動分析	安倍智紀 川崎智也 西内裕晶 轟 朝幸	14年12月
Transportation Research Board 94th Annual Meeting	Evaluation of Public Transport Transfer Nodes by Data Envelope Analysis Approach Using Smart Card Data	Nishiuchi, H., Todoroki, T., Kawasaki, T.	15年1月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	スケアード・ストレートを用いた中学生に対する自転車安全教室の効果	牧野悠輔 西内裕晶 轟 朝幸 川崎智也	15年3月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）			
海事プレス社 「日刊CARGO」	東日本大震災前後の被災荷主のコンテナ荷動き動向 —直後とその後—	川崎智也	14年5月16日
読売新聞（京都版）	言葉より効果的、事故再現し安全教育	轟 朝幸	14年6月9日
海事プレス社 「日刊CARGO」	米国発アジア向け穀物輸送におけるコンテナシフトの動向	川崎智也	14年7月11日
クルマ情報Webマガジン 「モーターデイズ」	愛知県ITS推進協議会／平成26年度講演会・総会	轟 朝幸	14年7月25日
BSフジ 「プライムニュース」	羽田発着枠拡大と世界 競争力と成田すみ分け	轟 朝幸	14年8月13日
海事プレス社 「日刊海事プレス」	穀物輸送におけるバルクキャリアとコンテナ船の選択問題	川崎智也	14年9月9日
海事プレス社 「日刊CARGO」	海上・航空輸送間シフト品目の特性分析（1）	川崎智也	14年9月12日
交通毎日新聞	国際興業と日大理工学研究所 需要特性を解明	運輸交通計画研究室	14年9月18日
岐阜新聞・スポニチほか	新幹線開業50周年特集	轟 朝幸	14年10月2日
海事プレス社 「日刊CARGO」	海上・航空輸送間シフト品目の特性分析（2）	川崎智也	14年10月17日
岩手日報・河北新報・下野新聞・京都新聞・ 日本経済新聞Web映像・東京MXテレビ ほか	飛べ！ 水上飛行機 首都圏と被災地結ぶ構想	水上空港ネットワーク 構想研究会 (伊澤・轟・江守・川崎)	15年1月1日
情報工学研究室（中山晴幸 専任講師）			
■口頭発表			
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	これまで提案した万葉線活性化計画のまとめ	中山晴幸	14年8月
第58回日本大学理工学部学術講演会	Train Delay Information Systems for Passengers in Japan	明石和樹 中山晴幸 ハリソン ジョナサン	14年12月

第58回日本大学工学部学術講演会	地方鉄道を活性化する方法の一例	津京優樹 寺澤祐貴 中谷 碧 澤昭 友 柴田吉輝 清水翔太 濱田 卓 中山晴幸	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	万葉線延伸計画	大濱勝史 田川純斗 中村正太郎 中山晴幸	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	万葉線観光列車の提案	安齋孝宣 内山岳洋 高橋佑介 宮崎佑一 中山晴幸	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	運転疲労に関する基礎的研究	小松滉佑 三塚達矢 中山晴幸	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	万葉線列車内乗換案内システムについて	春山浩輝 山崎慶一 中山晴幸	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	東京都内におけるJR線及び地下鉄線における乗換経路案内システムの構築	吉江和洋 白井清隆 中山晴幸	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	列車加速度の計測による鉄道軌道評価	柴田吉輝 由川 響 中山晴幸	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	列車通過時のレール変形から軌道システムを評価する試み	濱田 卓 井出夏海 由川 響 中山晴幸	14年12月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	万葉線ジオラマが出来るまで	澤 昭友 柴田吉輝 清水翔太 濱田 卓 中山晴幸	14年8月
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	万葉線観光列車の提案	安齋孝宣 内山岳洋 高橋佑介 宮崎佑一 中山晴幸	14年8月
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	万葉線延伸計画	大濱勝史 田川純斗 中村正太郎 中山晴幸	14年8月
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	万葉線トレインシミュレータ制作	津京優樹 寺澤祐貴 中谷 碧	14年8月
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	万葉線列車内案内システムの構築	中山晴幸 春山浩輝	14年8月
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	加速度計測による起動状態の把握	中山晴幸 柴田吉輝	14年8月
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	列車通過時のレール変形から軌道システムを評価する試み	中山晴幸 濱田 卓	14年8月
万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	高岡・射水平野の地形の成り立ちについて	峯岸邦夫 中山晴幸 村越祐介 星川大貴	14年8月
北日本新聞	万葉線活性化策を提案	中山晴幸	14年8月29日
富山新聞	万葉線の活性化へ提案	中山晴幸	14年8月29日

交通システム研究室（福田 敦 教授・石坂哲宏 助教）

■審査論文

Proceedings of Fourth International Conference - GEOMATE 2014 pp.540-544	Comparative Analysis of Embankment Methods Utilizing Expanded Poly-styrol and Conventional Method in Mountain Road in Japan by Life Cycle Assessment	Hideyuki Ito, Koichi Yamanaka, Shoma. Nehashi, Atsushi Fukuda, Kunio Minegishi	14年11月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3（土木計画学） （70巻5号） pp.I_829-I_836	バス専用通行帯規制区間における二輪車の通行方法に関する認識状況分析	稲垣具志 小早川梧 関根太郎 中村文彦 福田 敦 清水健造 高田邦道	14年12月
Proceeding of CODATU XVI	Determinants of Land Use Change along MRT Purple Line In Bangkok Metropolitan Region	Sathita MALAITHAM, Varameth VICHENSAN, Atsushi FUKUDA, Vasinee WASUNTARASOOK	15年2月
Proceeding of CODATU XVI	Impact of Biofuel Promotion Policy on Thai Road Transport	Nuwong CHOLLACOO, Peerawat SAISIRIRAT, Jakapong PONGTHANAI SAWAN, Tuenjai FUKUDA, Atsushi FUKUDA	15年2月
(公財)高速道路調査会 高速道路と自動車 （58巻3号）	高速道路ネットワーク9,142kmの経済効果 —空間的応用一般均衡（SCGE）アプローチ—	青木 優 森杉壽芳 武藤慎一 上泉俊雄 河野達仁 福田 敦 東山洋平	15年3月

International Journal of GEOMATE Vol.8 No.2 pp.1278-1282	COMPARATIVE ANALYSIS OF THREE EMBANKMENT METHODS FOR ROAD CONSTRUCTION BY LIFE CYCLE ASSESSMENT AND COST	Hideyuki Ito, Koichi Yamanaka, Shoma. Nehashi, Atsushi Fukuda, Kunio Minegishi	15年3月
■口頭発表			
19th National Convention on Civil Engineering	Estimation of Queue Length on Arterial Roadways based on Probe Vehicle Data: Case Study in Bangkok, Thailand	Napon SRISAKDA, Sathita MALAITHAM, Tetsuhiro ISHIZAKA, Atsushi FUKUDA, Shota TOMA	14年5月
19th National Convention on Civil Engineering	Fuel Consumption and CO ₂ Emission Reduction of Hybrid Vehicle and Variability in Driving Patterns	Sathita MALAITHAM, Shota TOMA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Atsushi FUKUDA	14年5月
19th National Convention on Civil Engineering	Economic Impact of High Speed Rail Development Experience in Japan	Atsushi FUKUDA	14年5月
(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	動学SCGEモデルによる高速道路整備便益の推計	東山洋平 森杉壽芳 武藤慎一 福田 敦	14年6月
32nd International Conference of the System Dynamics Society	Study on the Impact of CO ₂ Emission Depending on Change of the Urban Structure: Case Study of Khon Kaen, Thailand	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Tuenjai FUKUDA	14年7月
7th ATRANS Symposium, Young Researcher's Forum	Study on the Evaluation of the Roundabout Utilizing Micro Traffic Simulation Model	Takuya KOJIMA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Paramet LUATHEP	14年8月
7th ATRANS Symposium, Young Researcher's Forum	Study on Effective Lane Usage Including Bus Exclusive Lane for Motorcycles	Wataru MATSUMOTO, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Yoshihiko HASHINO	14年8月
7th ATRANS Symposium, Young Researcher's Forum	Comparative analysis of VKT from Transportation Demand Forecasting and VKT based on Actual Driving Distance in City	Hatsuki MORI, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Thaned SATIENNAM	14年8月
7th ATRANS Symposium, Young Researcher's Forum	TRANSPORTATION DEMAND FORECASTING AND VKT BASED ON ACTUAL DRIVING DISTANCE IN CITY	毛利初樹 福田 敦 石坂哲宏 タネードサティエンナム	14年8月
(一社)交通工学研究会 第34回交通工学研究発表会	Queue Length Estimation on Arterial Roadways based on Probe Vehicle Data in Bangkok	Napon SRISAKDA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	14年8月
環境アセスメント学会 第13回大会研究発表会	国道44号を対象とした野生動物の飛び出しによる潜在的危険地 点の抽出と分析	伊東英幸 福田 敦	14年9月
(公社)土木学会 第39回土木情報学シンポジウム	距離画像センサによる3次元データの平面投影を用いた車両 検出	安藤匠平 佐田達典 石坂哲宏	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	Study on the Estimation of CO ₂ Emission Reduction for Long Time When the Urban Area Changed: Case Study in Khon Kaen, Thailand	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	北海道における野生動物の飛び出しによる潜在的危険地点の抽 出と分析 —国道44号を対象として—	伊東英幸 福田 敦	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	高精度GPSを活用した横断歩行者回避時の走行挙動に関する 研究	今村一紀 石坂哲宏 佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	MMSの点群データを用いた可視領域定量化による交差点の見 通し評価に関する研究	船戸智也 佐田達典 石坂哲宏	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	自動二輪車専用レーンの幅員の違いが自動二輪車の走行挙動に 与える影響の分析	小川達也 石坂哲宏 佐田達典	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	投光器の照射角度を利用した変状サイズの計測手法に関する研究	石森章之 塩崎正人 佐田達典 石坂哲宏	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	距離画像センサを用いた車両走行速度計測のための撮影条件の 検討に関する研究	安藤匠平 佐田達典 石坂哲宏	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	衛星電波遮蔽環境下におけるモバイルマッピングシステムの測 位精度向上に関する検証実験	岩上弘明 佐田達典 石坂哲宏	14年9月
Symposium on Model Analysis of Sustainable Urban Development	Research trend of system dynamics on analysis of urban development in Japan	石坂哲宏	14年9月

JSD Conference 2014	都市再配置モデル (MARS) の新潟都市圏への導入	菊池浩紀 Sathita MALAITHAM 福田 敦 Guenter EMBERGER 石坂哲宏	14年11月
(公社)土木学会 第50回土木計画学研究発表会	距離画像センサによる2車線道路の交通量計測に向けた撮影条件の検討	安藤匠平 石坂哲宏 佐田達典	14年11月
第58回日本大学工学部学術講演会	タイ・コンケン市におけるパラトランジットの比較 —ソントウとロットゥーを対象として—	石井紀混 石原一樹 鈴木陽介 福田 敦 石坂哲宏 松本 航	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	タイ・コンケン市におけるソントウのサービス水準に関する研究 —交通まちづくり工房の活動の一環として—	青木 稜 荒井祐介 山形光希 福田 敦 石坂哲宏 毛利初樹	14年12月
第58回日本大学工学部学術講演会	交差点直近の踏切における交通渋滞の調査と分析 —タイ・コンケン市における交通まちづくり工房の活動の一環として—	車田敬斗 石井大和 青柳達也 館林晋平 福田 敦 石坂哲宏 小島拓也 畠山晃穂 端野良彦	14年12月
Transportation Research Board 94th Annual Meeting	Determinants of Land Use Change using Geographically Weighted Logistic Regression	Sathita MALAITHAM, Varameth VICHENSAN, Atsushi FUKUDA, Vasinee WASUNTARASOOK	15年1月

交通環境研究室 (藤井敬宏 教授・伊東英幸 助教)

■著書

環境アセスメント学会	環境アセスメントを活かそう「環境アセスメントの心得」	片谷教孝 石川公敏 伊東英幸 上杉哲郎 沖山文敏 尾上健治 真田純子 塩田正純 柴田裕希 田中寿枝 布施孝史 本間 勝 宮下一明 持木克之 松永忠久 矢野尚明 松島正興	14年9月
------------	----------------------------	--	-------

■審査論文

Proceedings of the 34th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment (Online Proceedings 巻)	Forest Evaluation Method Using Integrated SI Models	Hideyuki ITO, Kiichiro Hayashi	14年5月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会 日本福祉のまちづくり学会・概要集 vol.17	住民参加型バリアフリー施策の効果と影響に関する研究	長野博一 別府知哉 橋本美芽 石橋 裕 藤井敬宏	14年8月
環境アセスメント学会誌 (12巻2号) pp.63-71	米国加州のミティゲーションバンクにおける生態系サービスの重要度評価と経済価値評価	伊東英幸 太田貴大 林希一郎 吉田謙太郎 胡升華	14年9月
The 5th International Conference for Universal Design: UD2014	Study on Proposals and Evaluations of Short-Term Maintenance Programs in a Feedback Model and Consensus Buildings for Crowded Urban Areas	Hirokazu NAGANO, Takahiro FUJII	14年11月
Ecological Indicators (46巻) pp.52-58	The resource occupancy to capacity ratio indicator-a common unit to measure sustainability	Minoru Fujii, Kiichiro Hayashi, Hideyuki ITO, Makoto Ooba	14年11月
Proceedings of Fourth International Conference - GEOMATE 2014 pp.540-544	Comparative Analysis of Embankment Methods Utilizing Expanded Poly-styrol and Conventional Method in Mountain Road in Japan by Life Cycle Assessment	Hideyuki Ito, Koichi Yamanaka, Shoma. Nehashi, Atsushi Fukuda, Kunio Minegishi	14年11月
International Journal of GEOMATE Vol.8 No.2 pp.1278-1282	COMPARATIVE ANALYSIS OF THREE EMBANKMENT METHODS FOR ROAD CONSTRUCTION BY LIFE CYCLE ASSESSMENT AND COST	Hideyuki Ito, Koichi Yamanaka, Shoma. Nehashi, Atsushi Fukuda, Kunio Minegishi	15年3月
社会技術研究論文集 Vol.12 (インプレス)	LCAと環境経済評価の活用による生物多様性・生態系サービス評価 —木造住宅と鉄骨住宅の事例研究—	伊東英幸 林希一郎	15年3月 or 4月

■口頭発表

(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	保育園通園世帯のライフスタイルからみた交通行動に関する基礎的研究	明渡隆浩 長野博一 藤井敬宏 庄子美優紀	14年6月
----------------------------	----------------------------------	-------------------------	-------

(公社)土木学会 第49回土木計画学研究発表会	子育て世帯の外出活動に影響を与える育児ストレスの要因に関する研究	庄子美優紀 長野博一 藤井敬宏 明渡隆浩	14年6月
第13回 日本地域政策学会 全国研究金沢大会	聴覚障がい者の旅行行動に影響する個人特性	田中絵里子 藤井敬宏 荒木裕太	14年7月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会	障がい者の旅行行動に関する研究 その1 —特別支援学校における修学旅行の実態分析—	田中絵里子 藤井敬宏	14年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会	障がい者の旅行行動に関する研究 その2 —聴覚障がい者の旅行行動における個人特性との関係—	荒木裕太 田中絵里子 藤井敬宏	14年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会	保育園通園世帯のライフスタイルと交通行動の実態把握に関する基礎的研究	明渡隆浩 長野博一 藤井敬宏 庄子美優紀	14年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会	多機能トイレの利用実態と利用者意識に関する基礎的研究 —荒川区を事例として—	庄子美優紀 長野博一 藤井敬宏	14年8月
環境アセスメント学会 第13回大会研究発表会	国道44号を対象とした野生動物の飛び出しによる潜在的危険地点の抽出と分析	伊東英幸 福田 敦	14年9月
環境アセスメント学会 第13回大会研究発表会	オンサイトスケールの生物多様性評価手法の検討 —名古屋都市森林を対象としたHSI、HH、BBと森林環境指標による比較評価—	伊東英幸 林希一郎 長谷川泰洋 大場 真	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	北海道における野生動物の飛び出しによる潜在的危険地点の抽出と分析 —国道44号を対象として—	伊東英幸 福田 敦	14年9月
(一社)北海道開発技術センター 第14回「野生生物と交通」研究発表会	国道44号を対象としたエゾシカの飛び出しによる危険地点の分析	伊東英幸 竹村 峻 藤井敬宏 野呂美紗子 萩原 亨	15年2月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

日本環境共生学会 「環境共生」Vol.26	第17回学術大会研究発表報告 〈生物多様性オフセット／バンキングの評価手法の課題 —愛知県での事例研究を通じて—〉	伊東英幸	15年1月
環境アセスメント学会 「環境アセスメント学会誌」 第13巻第1号 pp.5-6	2014年度環境アセスメント学会大会報告 技術（2）生態系サービス	田中 章 伊東英幸	15年2月
名古屋大学エコトピア科学研究所 共同研究報告書	森林の環境負荷物質の低減機能やサービスの評価	伊東英幸	15年3月
国立環境研究所 環境省地球環境研究総合推進費報告書	環境保全オフセットにおける生態系サービス評価手法の研究	大場 真 林希一郎 伊東英幸	15年3月

地盤工学研究室（峯岸邦夫 教授）

■審査論文

(公社)地盤工学会 第59回地盤工学シンポジウム論文集 pp.305-310	混合地盤材料を用いた2層構造路床の弾性係数に及ぼす改良厚さおよび算出位置の影響	山中光一 峯岸邦夫 竹内康 野田遼斗	14年11月
Proceedings of Fourth International Conference - GEOMATE 2014 pp.540-544	Comparative Analysis of Embankment Methods Utilizing Expanded Poly-styrol and Conventional Method in Mountain Road in Japan by Life Cycle Assessment	Hideyuki Ito, Koichi Yamanaka, Shoma. Nehashi, Atsushi Fukuda, Kunio Minegishi	14年11月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 第29巻 pp.11-18	粘性土に短繊維を混入させた地盤材料の基本的力学特性	山中光一 峯岸邦夫	14年12月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 第29巻 pp.135-138	道路境界部に用いたジオセルの段差抑制効果および強度特性	峯岸邦夫 石井大悟 山中光一 渡部 健	14年12月
雑誌 「舗装」 Vol.50 No.8 pp.18-22	透水性ブロック舗装等に使用する強化ジオシンセティックスの耐久性評価	峯岸邦夫 山中光一 柳沼宏始 岡村智行 尾本志展 笠原 篤	15年3月
International Journal of GEOMATE Vol.8 No.2 pp.1278-1282	COMPARATIVE ANALYSIS OF THREE EMBANKMENT METHODS FOR ROAD CONSTRUCTION BY LIFE CYCLE ASSESSMENT AND COST	Hideyuki Ito, Koichi Yamanaka, Shoma. Nehashi, Atsushi Fukuda, Kunio Minegishi	15年3月

■口頭発表

(公社)地盤工学会 第49回地盤工学研究発表会	ジオセルを用いた道路境界部における段差抑制効果に関する現場実験	峯岸邦夫 石井大悟 渡部 健 山中光一	14年7月
----------------------------	---------------------------------	------------------------	-------

(公社)地盤工学会 第49回地盤工学会研究発表会	混合地盤材料の路床弾性係数に及ぼす改良厚さの影響	峯岸邦夫 山中光一 下辺 悟	14年7月
(公社)地盤工学会 第49回地盤工学会研究発表会	短繊維を混合した粘性土の強度変形特性	峯岸邦夫 長谷川圭介 山中光一	14年7月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	ジオセルによる構造物取付け部の段差抑制効果について	峯岸邦夫 石井大悟 渡部 健 山中光一	14年9月
(公社)土木学会 第69回年次学術講演会	面状補強材を混合した粘性土の力学特性に及ぼす補強材形状の影響	峯岸邦夫 山中光一 長谷川圭介	14年9月
(公社)地盤工学会 第11回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2014)	高機能舗装に用いるジオシンセティックスの耐久性評価方法の提案	峯岸邦夫 長谷川圭介	14年10月
(公社)地盤工学会 第11回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2014)	軌道管理システムを実用化するための閾値設定の提案	峯岸邦夫 中山晴幸 村越祐介	14年10月
(公社)地盤工学会 第11回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2014)	混合地盤材料を用いた2層構造路床の弾性係数に及ぼす改良厚さの影響	山中光一 峯岸邦夫 野田遼斗	14年10月
(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会	高機能舗装に用いる多層構造ジオシンセティックスの耐久性評価方法の検討	峯岸邦夫 山中光一 長谷川圭介	15年3月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

万葉線株式会社 万葉線ワークショップ2014	高岡・射水平野の地形の成り立ちについて	峯岸邦夫 中山晴幸 村越祐介 星川大貴	14年8月
------------------------	---------------------	------------------------	-------

道路交通研究室（安井一彦 准教授）

■口頭発表

第58回日本大学理工学部学術講演会	Traffic view における実交通状況の再現性に関する研究	竹下将司 安井一彦	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	信号交差点におけるクリアランス時の車両挙動に基づく出会い頭事故抑止のための信号制御の提案	細島豪人 安井一彦	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	単独信号制御の高度化に関する研究 —無駄青時間の減少—	津布子裕幸 安井一彦	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	千葉県の交通事故多発交差点の分析と改善案に関する研究	鈴木隆晃 安井一彦	14年12月
第58回日本大学理工学部学術講演会	昼夜別の実勢速度の比較に関する研究	阿南海哉 安井一彦	14年12月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

(一財)全日本交通安全協会 「人と車」 50巻6号 pp.30-31	ITS ってなんだろう 〈なぜITSが必要になったのか〉	安井一彦	14年5月
(一財)全日本交通安全協会 「人と車」 50巻8号 pp.34-35	ITS ってなんだろう 〈カーナビゲーションの高度化、自動料金収受システム〉	安井一彦	14年7月
(一財)全日本交通安全協会 「人と車」 50巻10号 pp.32-33	ITS ってなんだろう 〈公共車両、緊急車両の走行支援〉	安井一彦	14年9月
(一財)全日本交通安全協会 「人と車」 50巻12号 pp.30-31	ITS ってなんだろう 〈安全運転の支援、商用車の効率化、歩行者の支援〉	安井一彦	14年11月
(一財)全日本交通安全協会 「人と車」 51巻3号 pp.30-31	ITS ってなんだろう 〈交通管理の最適化、道路管理の効率化〉	安井一彦	15年3月
(一財)全日本交通安全協会 「人と車」 51巻4号 pp.30-31	ITS ってなんだろう 〈海外での事例、これからのITS〉	安井一彦	15年4月
東京FM 「中西哲生のクロノス」	進化する歩行者信号機	安井一彦	14年6月

■岩井茂雄 教授

- (公社)土木学会 技術推進機構運営委員会 委員
 (公社)土木学会 技術推進機構 継続教育実施委員会 委員長
 (公社)土木学会 舗装工学委員会 委員
 (公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト小委員会 委員
 (一社)インターロッキングブロック舗装技術協会 監事
 (一社)日本石灰協会 石灰安定処理委員会 委員
 (一社)日本道路建設業協会 舗装施工管理技術者資格試験委員会 委員
 (一社)日本道路建設業協会 舗装施工管理技術者技術講習小委員会 委員長
 (一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画運営委員会 委員
 (財)土木研究センター 理事
 (独)大学評価・学位授与機構 工学・芸術工学専門委員会 土木部会 委員
 国土交通省関東地方整備局 関東技術事務所 総合評価審査分科会 委員
 国土交通省関東地方整備局 路面空洞判定委員会 委員
 防衛省南関東防衛局 入札監視委員会 委員
 船橋市 環境審議会 委員
 船橋市 地球温暖化対策地域協議会 会長

■小早川 悟 教授

- (公社)土木学会 国際センター 幹事
 (公社)土木学会 国際センター情報発信グループ グループリーダー
 (公社)土木学会 土木計画研究委員会 自転車政策研究小委員会 委員
 (一社)交通工学研究会 編集委員会 委員
 (一社)交通工学研究会 第1学術小委員会 委員
 (一社)交通工学研究会 第2学術小委員会 委員
 (一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計計算ソフト小委員会 委員長
 (一社)交通工学研究会 自転車交差点自主研究会 幹事
 (一社)交通工学研究会 平面信号委員会 委員
 (一社)交通工学研究会 平面信号委員会 マニュアル改訂分科会 委員
 (一社)交通工学研究会 駐車場地域ルール検討委員会 委員
 (一社)交通工学研究会 千葉県国道版道路監査委員会 委員
 (公社)日本交通政策研究会 道路交通基盤の整備状況を考慮した災害時応援協定の締結に関する研究 プロジェクトリーダー
 (公社)日本交通政策研究会 道路空間の有効活用法に関する研究 委員

- (財)国土技術研究センター 最近の交通問題と道路サービス(新道路研究会) 委員
 国土交通省道路局 大型車両の円滑な通行のための取組に関する研究会 座長
 国土交通省都市局 大規模マニュアル改訂の準備委員会 委員
 国土交通省関東地方整備局 東京都市圏交通計画協議会 委員
 大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会 会長
 大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会 会長
 埼玉県久喜市 公共交通検討委員会 委員
 東京都立川市 駐車場整備計画改定検討協議会 会長
 日本シェアサイクル協会 理事
 システムダイナミクス学会日本支部 理事

■佐田達典 教授

- (公社)土木学会 土木学会論文集編集委員会 F3分冊編集小委員会 委員長 (2014.5.31まで)
 (公社)土木学会 土木情報学委員会論文集編集小委員会 委員長 (2014.5.31まで)
 (公社)土木学会 土木情報学委員会センサ利用技術小委員会 委員長 (2014.5.31まで)
 (公社)日本測量協会 理事
 (公社)日本測量協会 機関誌「測量」編集委員会 委員長
 (公社)日本測量協会 応用測量論文集編集委員会 委員長
 (一財)日本建設情報総合センター 理事
 国土交通省国土地理院 マルチGNSS測量マニュアル案作成に関する検討委員会 委員長
 国土交通省国土地理院 「平成26年度公共測量に関する課題」調査検討委員会 委員長
 国土交通省国土地理院 総合評価委員会 委員
 国土交通省総合政策局 地域づくり・建設施工等に係る企画競争有識者委員会 委員
 国土交通省国土技術政策総合研究所 技術提案評価審査会 委員

■下川澄雄 教授

- (公社)土木学会 土木学会技術推進機構 土木技術者資格委員会 上級・1級土木技術者委員会 主査
 (公社)国際交通安全学会 安全でエコなラウンドアバウトの実用展開に関する研究会 委員
 (公社)国際交通安全学会 安全でエコなラウンドアバウトの実用展開に関する研究会 事例集作業分科会 委員
 (一社)交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ 委員
 (一社)交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ 計画設計分科会 会長
 (一社)交通工学研究会 伊豆市中心市街地交通問題検討会 委員

NPO法人 まちづくりサポーター FUJI 浜松市モビリティ
マネジメント促進に有効な交通情報提供手段の研究検討
会 委員

NPO法人 まちづくりサポーター FUJI 理事

静岡県 ラウンドアバウト検討委員会 委員

静岡県道路公社 伊豆スカイライン・箱根スカイライン新グ
ランドデザイン検討会 委員

浜松市 原田橋関連土砂崩壊対策検討委員会 委員

浜名湖地域舟運都市構想研究会 浜名湖地域振興・減災協議
会 委員

■下辺 悟 教授

(公社)地盤工学会 地盤工学会基準部 室内試験規格・基準
委員会 委員 (WG1物理特性)

(公社)地盤工学会 JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験
方法改定WG グループリーダー

(公社)地盤工学会 アカデミックロードマップと発展史・人
物史小委員会 委員 (第3章)

■轟 朝幸 教授

(公社)土木学会 技術推進機構 技術者教育プログラム審査
委員会 委員

(公社)土木学会 土木計画学春大会運営小委員会 委員長

(社)国土政策研究会 会誌編集委員会 委員

(財)運輸政策研究機構 公共交通支援情報センター 地域公
共交通アドバイザー

(財)運輸政策研究機構 首都圏空港機能強化検討調査委員会
委員 (WG座長)

(独)環境再生保全機構 局地汚染地域における重点対策地区
設定手法に関する調査研究検討会 委員

Eastan Asia Society for Transport Studies (EASTS),
International Scientific Committee (ISC), Member

国土交通省 交通政策審議会 航空分科会 臨時委員

国土交通省航空局 総合評価委員会 委員

国土交通省航空局 空港の津波・地震対策検討委員会 委員

国土交通省総合政策局 情報通信技術を活用した公共交通活
性化に関する研究会 委員

国土交通省東京航空局 総合評価委員会 委員

国土交通省東京航空局 羽田空港の津波早期復旧対策検討委
員会 委員長

国土交通省関東運輸局 地域公共交通活性化・再生に関する
アドバイザー会議 委員

東京都 空港アクセスバス強化促進協議会 座長

千葉県 国土利用計画地方審議会 委員

千葉県 入札監視委員会 委員

千葉県 建設工事総合評価 委員

千葉県ほか 成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的
運用に関する検証小委員会 委員長

葛飾区 入札監視等委員会 委員

青梅市 公共交通活性化協議会 委員(議長)

鎌ヶ谷市 建設工事総合評価委員

松戸市 建設工事総合評価委員

船橋市 地域公共交通活性化協議会 委員

佐倉市 地域公共交通活性化協議会 委員

山武市 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)

木更津市 公共交通会議 委員

大網白里町 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)

八街市 地域公共交通協議会 委員(副会長)

木更津市 金田総合交通バスターミナルハブ化検討委員会
委員長

■福田 敦 教授

(公社)土木学会 技術者教育プログラム審査委員会 顧問

(公社)土木学会 100周年記念事業実行委員会支部部会 部
会長

(公社)土木学会 国際センター国際交流グループ タイ国担
当リーダー

(公社)土木学会 土木学会将来ビジョン策定特別委員会
委員

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 副委員長

(公社)土木学会 関東支部 支部長(2014.5まで)

(公社)土木学会 関東支部 幹事

(一社)交通工学研究会 理事

(一社)計画・交通研究会 評議員

(一社)日本技術者教育認定機構 認定事業委員会 委員

(一社)日本技術者教育認定機構 審査員研修部会 委員

(一社)日本技術者教育認定機構 自己評価委員会 委員

(一社)日本私立大学連盟 FD推進会議運営委員会 委員

(特社)海外運輸協力協会 アドバイザー

(公財)国際交通安全学会 表彰助成部会企画委員会 委員長

(公財)国際交通安全学会 企画調整委員会 委員

(公財)国際交通安全学会 IATSS40周年記念実行委員会 ア
ドバイザー

(一財)日本品質保証機構 CDM/JI判定委員会 海外専門判
定委員

(独)国際協力機構 JICA研修「総合都市交通計画・プロジェ
クト」講師

交通エコロジー・モビリティ財団 交通・観光カーボンオフ
セット支援システム運営委員会 委員

システムダイナミクス学会日本支部 事務局長・理事

システムダイナミクス学会日本支部 The Asia-Pacific
System Dynamics Conference of the System Dynamics
Society, Program Co-Chair

日本環境共生学会 理事

日本環境共生学会 学術編集委員会 委員

Eastan Asia Society for Transport Studies (EASTS),
International Cooperative Research Activity (ICRA),
Committee Member

EASTS-Japan 理事

Asia Transportation Research Society (ATRANS) 名誉顧問

Asia Transportation Research Society (ATRANS), ATRANS RESEARCH, Managing Editors

国土交通省総合政策局 国際建設関連業務に係る企画競争有識者委員会 委員

千葉市 行政改革推進委員会 委員

八千代市 都市計画審議会 委員

■藤井敬宏 教授

国土交通省関東運輸局 千葉県バリアフリーネットワーク会議 座長

荒川区 バリアフリー基本構想策定協議会 会長

港区 バリアフリー基本構想策定および推進協議会 会長

港区 赤坂見附駅前暫定自転車駐車場管理運営事業候補者選定委員会 委員長

港区 赤坂見附駅前暫定自転車駐車場及びオートバイ駐車場選考委員会 委員長

港区 麻布十番公共駐車場指定管理者選考委員会 委員長

品川区 バリアフリー基本構想策定協議会 会長

武蔵村山市 市内循環バス検討協議会 (地域公共交通会議) 会長

船橋市 都市計画審議会 委員

柏市 地域公共交通協議会 委員

市川市 地域公共交通協議会 委員

市川市 都市計画審議会 委員

市原市 地域公共交通会議 座長

市原市 地域公共交通活性化協議会 座長

市原市 公共交通の地域協議会 アドバイザー

市原市 福祉有償運送運営協議会 委員

市原市 総合評価方式による入札評価 委員

我孫子市 地域公共交通協議会 委員

我孫子市 都市計画審議会 会長

習志野市 バリアフリー基本構想策定協議会 会長

習志野市 福祉有償運送運営協議会 会長

裾野市 都市計画審議会 会長

裾野市 社会資本整備総合交付金事後評価委員会 委員長

裾野市 地域公共交通の実施計画 アドバイザー

富士宮市 都市計画審議会 委員

富士宮市 地域公共交通活性化再生会議 委員

伊豆の国市 地域公共交通会議 委員

下田市 地域公共交通会議 委員

■峯岸邦夫 教授

(公社)土木学会 技術功労賞選考委員会 副委員長

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 委員兼幹事

(公社)土木学会 キッズプロジェクト検討小委員会 委員長

(公社)土木学会 技術者教育認定プログラム審査委員会 副幹事長

(公社)土木学会 100周年事業実行委員会 支部委員

(公社)土木学会 関東支部 支部副幹事長 (2014.5まで)

(公社)土木学会 関東支部 運営幹事会 副幹事長 (2014.5まで)

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事

(公社)地盤工学会 基準部 幹事長

(公社)地盤工学会 基準英訳化実行委員会 委員

(公社)地盤工学会 TC202 (交通地盤工学) 国内委員

(公社)地盤工学会 関東支部 評議員

(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ代表

(公社)地盤工学会 関東支部 発表会 (Geo-Kanto2014) 実行委員会 県連絡委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 支部幹事

国際ジオシンセティックス学会日本支部 表彰委員会 副委員長

国際ジオシンセティックス学会日本支部 論文集編集委員会 委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 行事委員会 委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 新技術委員会 幹事

国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 総合評価審査分科会 委員

国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 総合評価審査分科会 委員

我孫子市 液状化対策検討委員会 委員

船橋市 船橋市一般競争入札【総合評価型】 学識経験者

■安井一彦 准教授

(一社)交通工学研究会 交通工学研究発表会 査読委員

(一社)交通工学研究会 首都高速道路交通安全対策検討会 委員

千葉県警察本部 交通事故調査委員会 委員

千葉県 大規模小売店立地審議会 委員

千葉県 国道464号千葉NT地区交通対策検討会議 議長

千葉県 国道464号千葉NT地区交通対策検討会議 議長

■石坂哲宏 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究員会 国際展開小委員会 委員

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事

(一社)交通工学研究会 学術委員会 委員

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員

システムダイナミクス学会日本支部 理事

Eastern Asia Society for Transportation Studies (EAST), International Scientific Committee (ISC), Committee Member

(独)国際協力機構 JICA研修「総合都市交通計画・プロジェクト」 講師

(独)国際協力機構 JICA研修「総合都市交通計画・プロジェクト」 講師

■伊東英幸 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 委員
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 国際展開小委員会 委員
(公社)土木学会 国際センター 情報グループ幹事会 委員
(公社)土木学会 関東支部企画部会 幹事
International Association for Impact Assessment 日本支部 環境社会配慮研究部会 幹事
International Association for Impact Assessment 2016大会実行委員会 幹事
International Association for Impact Assessment 2016大会 Local Arrangement Committee 代表幹事
International Association for Impact Assessment 2016大会準備委員会 委員
環境アセスメント学会 企画委員会小冊子WG メンバー
環境アセスメント学会 2014年度第13回大会実行委員会 委員
環境アセスメント学会 生態系研究部会 メンバー
環境アセスメント学会 若手研究会 幹事
環境アセスメント学会 学術委員会 委員
ライフサイクルアセスメント学会 ライフサイクルインパクト評価研究部会 メンバー
システムダイナミクス学会日本支部 理事
なごや生物多様性保全活動協議会 委員
山梨県環境影響評価等技術審議会 委員
岐阜大学地域科学部地域政策学科 非常勤講師

■稲垣具志 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 移動権の考え方に 基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 少子高齢社会にお ける子育てしやすいまちづくり研究小委員会 委員
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 自転車政策研究小 委員会 委員
(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 道路空 間の有効活用法に関する研究 委員
(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 道路交 通基盤の整備状況を考慮した災害時応援協定の締結に関 する研究 委員
(公社)自動車技術会 二輪車の運動特性部門委員会 委員
(一社)交通工学研究会 自転車通行を考慮した交差点設計の 手引小委員会 幹事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員 会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会実行委員 会 委員
(一社)日本交通科学学会 交通科学文献調査委員会 幹事
東京都 福祉のまちづくり推進協議会 委員

東京都 福祉のまちづくり推進協議会 専門部会 委員
二子玉川商店街振興組合 交通アドバイザー
二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 委員
二子玉川通り名検討委員会 委員長
西東京市 地域公共交通会議 副会長
武蔵野市 自転車等駐車対策協議会 委員

■江守 央 助教

(公社)土木学会 移動権に基づく移動環境の整備・評価に関 する研究小委員会 幹事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 国際特別研究委員会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 代議員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 副事務局長
(一社)建築学会 国土強靱化とスマートシティ特別研究委員 会 委員
(独)国際協力機構 ヨルダン・障害者のアクセシビリティ改 善のためのアドバイザー 専門家メンバー
大田区 移動円滑化推進協議会 副委員長
三鷹市 バリアフリーのまちづくり推進協議会 会長
中野区 交通バリアフリー整備構想改定協議会 会長
八千代市 福祉有償運送運営協議会
鎌ヶ谷市 福祉有償運送運営協議会 会長
松戸バリアフリー市民会議 編集委員

■川崎智也 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 物流に関わる国際 戦略・研究活動支援事業運営小委員会 委員
東京都市圏総合都市交通体系あり方検討会 立地・混在ワー キンググループ 委員
東京都市圏総合都市交通体系あり方検討会 ネットワーク ワーキンググループ 委員

■齊藤準平 助教

(公社)土木学会 総務部会 技術功労賞選考委員会 幹事
(公社)土木学会 関東支部 広報部会 副主査
(公社)土木学会 関東支部 運営幹事会 幹事
(公社)日本コンクリート工学会 コンクリート工学年次大会 2015 (千葉) 実行委員会 講演部会 委員

■山中光一 助手

(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事

■小早川 悟 教授

モデレータ：ロンドン・サイクルハイヤーの現状と今後の展開 日本のシェアサイクルの可能性 ~オリンピックを終えたロンドンとオリンピックを迎える東京~/千代田区自転車イベント実行委員会/全電通労働会館 (全電通ホール) 2014.5.28

講演：自転車安全利用TOKYOセミナー「信号交差点での自転車の通行実態」/東京都青少年・治安対策本部総合対策部交通安全課/新宿NSビル 2014.7.17

講師：JICA集団研修「総合都市交通計画プロジェクト」 「Parking Management」/ (独) 国際協力機構/ JICA東京 2014.10.27

■佐田達典 教授

講演：ユーザーカンファレンス Geospatial2014 「Trimble MX8 による計測データの精度検証と応用事例について」/ニコン・トリンプル/秋葉原UDX 2014.12.24

■下川澄雄 教授

オーガナイザー：第49回土木計画学研究発表会 企画セッション「道路の計画設計と交通運用の新たな試み」/ (公社) 土木学会/ (一財) 全国建設研修センター 2014.6.7

講師：平成26年度道路設計演習「道路の計画・設計の現状と今後の展望」/ (一財) 全国建設研修センター 2014.7.22

座長：ラウンドアバウトサミット in 焼津 パネルディスカッション「ラウンドアバウトを活用した安全・安心で魅力的なまちづくり」/ラウンドアバウト普及促進協議会/焼津文化会館大ホール 2014.11.6

講師：人口減少に伴う地方都市の活性化に向けたまちづくり/遠州鉄道株式会社 2015.3.19

■下辺 悟 教授

座長：第59回地盤工学シンポジウム/地盤工学会/長野市生涯学習支援センター 2014.11.27-28

■轟 朝幸 教授

基調講演講師：愛知県ITS推進協議会総会/愛知県ITS推進協議会/愛知県名古屋市 2014.7.25

パネリスト：土浦市まちづくりシンポジウム/土浦青年会議所/茨城県土浦市 2014.11.15

基調講演講師：空港技術報告会/国土交通省航空局/東京都千代田区 2014.11.27

講演講師：日本大学理工学部シンポジウム「水上空港ネットワークによる交通イノベーション」/東日本復興水上空港ネットワーク構想研究会/東京都千代田区 2014.11.29

講演講師：地域公共交通確保維持に関する勉強会/八街市地域公共交通活性化協議会/千葉県八街市 2014.11.30

講演講師：第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム「国際救助隊の活動」/国際連合/宮城県仙台市 2015.3.18

■福田 敦 教授

コメンテーター：第10回全国大会 A5セッション/環境共生学会/徳島大学 2014.9.28

講義：JICA集団研修「総合都市交通計画プロジェクト」；「JICAストラダ (演習)」 「都市交通計画の立案と実例 (講義)」/ (独) 国際協力機構/ JICA東京 2014.10.29、2014.11.10、11、13、14

講演：わが国におけるカーシェアリングの実態/ (公財) 国際交通安全学会/日本カーシェアリング協会 2014.11.24

講義：平成26年度JICA集団研修「都市公共交通コロキウム」コース；「東アジア大都市の持続可能な都市交通システム」/ (独) 国際協力機構/ JICA東京 2015.1.29

■藤井敬宏 教授

講演：大学での学びとは/上野学園高等学校 2014.6.14

講演：地域と築く公共交通—ようろう号—/千葉県市原市養老地区デマンド型乗り合いタクシー運営委員会/養老地区コミュニティセンター 2014.7.2

講演：まちのバリアをなくす『気づき』と『活動』/2014年度国土交通省千葉県運輸支局バリアフリーネットワーク会議/千葉県山武市大会議室 2014.11.19

講演：地域と築く公共交通—官民協働による取り組み—/2014年度茨城県北及び鹿行地区地域支援研究会/茨城県総合福祉会館中研修室 2015.1.30

講演：市民と取り組むバリアフリー化へのアプローチ/2014年度国土交通省バリアフリー基本構想策定支援セミナー/さいたま新都心合同庁舎 2015.2.4

講演：地域と築く公共交通—デマンド戸田—/千葉県市原市戸田地区デマンド型乗り合いタクシー運営委員会/戸田地区コミュニティセンター 2015.2.21

講義：交通と環境/日本大学三島高等学校 2015.3.6

■峯岸邦夫 教授

座長：第9回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2014) / (公社) 地盤工学会関東支部/国際交流会館 2014.10.3

■安井一彦 准教授

講演会講師：安全運転管理者講習会 (交通事故抑止のために) / (一財) 東京都交通安全協会/中野ゼロホール 2014.4.18 (他11回)

■石坂哲宏 助教

講演：我が国の都市分析におけるシステムダイナミックスモデルの系譜/システム・ダイナミックス学会日本支部、日本環境共生学会/東京 2014.9.19

講義：JICA集団研修「総合都市交通計画プロジェクト」；「JICAストラダ (演習)」/ (独) 国際協力機構/ JICA東京 2014.11

■伊東英幸 助教

副座長：2014年度環境アセスメント学会 第13回大会/環境アセスメント学会/千葉大学西千葉キャンパス 2014.9.15

討論者：第17回日本環境共生学会学術大会 企画セッション C3：環境社会影響評価の新しい潮流/日本環境共生学会/徳島大学常三島キャンパス 2014.9.28

講演：第2回環境保全オフセットにおける社会・経済的側面に関する研究会「米国におけるミティゲーションバンク

の生態系サービスの経済評価」/環境省地球環境研究総合推進費/日本大学理工学部駿河台校舎 2014.11.26

講演:名古屋大学エコトピアプロジェクトC-1プロジェクト「バイオマスの生物多様性LCA評価」/名古屋大学エコトピア科学研究所/名古屋大学エコトピア科学研究所 2015.2.18

■稲垣具志 助教

基調講演・座談会座長:世田谷区交通安全シンポジウム「やさしく走ろう世田谷 運転マナーの向上、エコドライブの推進」「区民が守る世田谷の交通安全【住民発意のゾーン30と「世田谷ナンバー」の交通ブランド】」/世田谷区/成城ホール 2014.5.13

講演:世田谷区自転車安全利用推進員公募説明会「区民主体の自転車安全利用推進」/世田谷区/三軒茶屋キャロットタワー 2014.5.28

講演:二子玉川100年懇話会「子どもの道路横断特性と効果的な安全対策とは?」/玉川町会/玉川町会会館 2014.6.2

コーディネーター:交通安全子どもワークショップ「まちの安全守り隊チビニコレンジャー2014」/世田谷区立二子玉川小学校PTA校外委員会、二子玉川地区交通環境浄化推進協議会/世田谷区立二子玉川小学校 2014.7.24

講演・コーディネーター:東名ジャンクション上部空間等検討ワークショップ第1回「魅力あふれる上部空間の実現に向けて」/世田谷区/世田谷区立喜多見小学校 2014.9.14

講演・コーディネーター:東名ジャンクション上部空間等検討ワークショップ第2回/世田谷区/世田谷区立喜多見小学校 2014.9.27

講演・コーディネーター:東名ジャンクション上部空間等検討ワークショップ第3回/世田谷区/世田谷区立喜多見小学校 2014.10.25

講演:世田谷区立小学校PTA連合協議会 成城警察署管内 地域環境連絡協議会「地域主体の自転車安全利用推進」/世田谷区立小学校PTA連合協議会/世田谷区立船橋小学校 2014.11.28

講演:二子玉川100年懇話会「玉川ゾーン30導入後調査」/玉川町会/玉川町会会館 2015.2.2

講師:第2回区市町村交通安全教育担当者実務講習会「子どもの道路横断特性と効果的な安全対策とは?」/東京都青少年・治安対策本部/東京都庁 2015.2.12

講演:船橋の交通安全を守ろうセミナー「子どもの道路横断能力とは? ~安全対策・教育の新たな視点~」/世田谷区立船橋小学校地域環境連絡協議会/世田谷区立船橋小学校 2015.3.5

■江守 央 助教

座長:日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会 セッション番号:G-II-1B 教育・人材育成/日本福祉のまちづくり学会/近畿大学工学部広島キャンパス 2014.8.24

講師:移動空間における残された課題と今後の展開/H26年度 大田区移動等円滑化推進計画「合同事業者部会」/大田区消費者センター 2014.11.11

司会:水上空港ネットワークによる交通イノベーション 全国津々浦々の 地方創生に果たす役割/水上空港ネット

ワーク構想研究会/日本大学理工学部駿河台キャンパス 2014.11.22

ゲストアドバイザー:第5回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2014 in 福島&東京 公開ワークショップ「テーマ1. 公共空間の移動をやすくする情報について考える」/国際ユニヴァーサルデザイン会議/東京国際交流館 2014.11.12

講師:我が国における移動空間に残された課題と今後の展開/H26年度 大田区移動等円滑化推進計画「区民部会」/大田区消費者センター 2014.12.10

講師:平成26年度(ヨルダン国別研修)「アクセシビリティ改善」コース/(独)国際協力機構/JICA幡ヶ谷 2014.12.5-12

講演:超高齢社会の社会インフラと交通に関する国際セミナー「ヨルダンにおけるバリアフリーに向けた人材育成」/中央大学研究開発機構、土木計画学研究委員会「移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会、日本福祉のまちづくり学会「国際委員会」「地域福祉交通委員会」「オリ・パラ委員会」/中央大学後楽園キャンパス 2015.1.14

講師:平成26年度(ヨルダン国別研修)「Accessibility Improvement Workshop for PWDs」/(独)国際協力機構/Amman, Jordan 2015.3.6-12

座長:(公社)土木学会 第42回関東支部技術研究発表会/防災1/東海大学湘南キャンパス 2015.3.5

■川崎智也 助教

講演:スエズ運河特別講演会 第1回EASTS Japanセミナー「Estimation of the congestion cost in the Port of Tokyo」/アジア交通学会、日本大学大学院理工学研究科社会交通工学専攻交通研究センター/日本大学理工学部 2014.6.2

講演:日本海運経済学会関東部会6月例会 シンポジウム「わが国の港湾の競争力とガバナンス」「母船積出港の選択問題」/日本海運経済学会/日本大学理工学部 2014.6.6

講師:「国際比較を通じたアジアにおける交通インフラの整備手法の分析」プロジェクト「輸送手段の変化に着目した定期船部門のシェア拡大に関する一考察」/中国・アジア研究センター/日本大学経済学部 2014.9.26

■池田隆博 助手

講演:準天頂衛星初号機による利用実証勉強会 衛星測位におけるマルチパス検知に関する手法について/(一財)衛星測位利用推進センター/日本大学理工学部船橋キャンパス 2014.10.7

海外出張

2014. 4. 1～2015. 3. 31

教員名	出張期間／出張目的／訪問国
岩井茂雄 教授	2014年9月13日～24日／第26回EAIE（(European Association for International Education, Annual Meeting) 年次総会出席、北西スイス応用科学・芸術大学およびフラデツ・クラロヴェ大学との協定締結打ち合わせ／プラハ（チェコ）、オルテン（スイス）、フラデツ・クラロヴェ（オーストリア）
佐田達典 教授	2014年11月2日～5日／Trimble Dimension 2014 学会発表／ラスベガス（米国）
福田 敦 教授	2014年5月13日～15日／タイ工学会全国土木工学会議に参加し、講演／コンケン（タイ） 2014年7月19日～24日／The 32rd International Conference of the System Dynamics Society／デルフト（オランダ） 2014年8月11日～23日／第6回ATRANSシンポジウム参加その他／バンコク（タイ） 2014年8月24日～27日／まちづくり工房国際班WS開催／バンコク、コンケン（タイ） 2014年9月2日～3日／ATRANSプロジェクト実施／コンケン（タイ） 2014年10月22日～25日／IATSSプロジェクト実施／コンケン（タイ） 2014年11月17日～20日／科学研究費補助金による現地調査／コンケン、バンコク（タイ） 2014年12月11日～14日／ATRANS理事会参加／パタヤ（タイ） 2014年12月26日～2015年1月5日／ATRANSラウンドテーブルミーティングその他参加／バンコク（タイ） 2015年1月8日～12日／ATRANS会議参加など／ライオン（タイ） 2015年2月1日～7日／CODATU2015で論文発表／イスタンブール（トルコ） 2015年2月26日～3月4日／IATSSプロジェクト実施／コンケン（タイ） 2015年3月19日～23日／IATSSプロジェクト実施／ビエンチャン（ラオス） 2015年3月26日～31日／ATRANS会議参加など／バンコク（タイ）
峯岸邦夫 教授	2014年8月23日～30日／交通システム工学科「海外研修」引率／ロンドン（イギリス）、パリおよびノルマンディー地方（フランス）
安井一彦 准教授	2014年5月2日～6日／交通規制保安施設に関する調査研究／瀋陽市（中国）、ソウル特別市（韓国） 2014年7月4日～7日／速度情報を用いたオフセット改善交差点の抽出に関する調査研究／瀋陽市（中国）、ソウル特別市（韓国） 2014年8月18日～22日／交通規制保安施設に関する調査研究／ソウル特別市（韓国） 2014年11月24日～30日／交通規制保安施設に関する調査研究／ソウル特別市（韓国） 2015年2月17日～20日／交通規制保安施設に関する調査研究／瀋陽市（中国）、ソウル特別市（韓国） 2015年3月7日～10日／ソウルの交通管制システムに関する調査研究／ソウル特別市（韓国）
伊東英幸 助教	2014年10月22日～26日／タイ・コンケン市における現地調査と打ち合わせ、およびバンコクでの現地調査／コンケン・バンコク（タイ） 2014年11月18日～22日／GEOMATE2014に参加し、論文発表／ブリスベン（オーストラリア） 2015年1月6日～10日／タイ・コンケン市における現地調査と打ち合わせ／コンケン（タイ）
江守 央 助教	2015年3月6日～13日／「障害者のアクセスビリティ改善のためのアドバイザー」活動短期派遣専門家（交通）／アンマン（ヨルダン）
川崎智也 助教	2014年10月30日～11月4日／7th International Conference of Asian Shipping and Logistics／ソウル、釜山（韓国） 2014年11月13日～21日／ロッテルダム港、アントワープ港における講演およびインタビュー調査／ロッテルダム（オランダ）、アントワープ（ベルギー） 2015年3月7日～19日／ブルンジ、ウガンダ、ケニアにおける内陸開発途上国の貨物輸送調査／ブジュンブラ（ブルンジ）、カンバラ（ウガンダ）、ナイロビ（ケニア） 2015年3月21日～24日／スカルノハッタ空港におけるバードストライク対策の調査／ジャカルタ（インドネシア）
齊藤準平 助教	2014年8月7日～9月5日／平成26年度日本大学海外派遣研究員 短期（B） 「イギリスにおける近代および古代構造物の維持管理の現状」／ロンドン、チェスター、ブリストル、ヨーク、エジンバラほか（イギリス）

外部研究資金の受入状況

2014. 4. 1～2015. 3. 31

助成金名・委託元など（研究期間）

研究課題

教員名

東京都青少年・治安対策本部（～2015.3.31） 東京都駅前放置自転車実態研究委託	小早川 悟、稲垣具志
科学研究費補助金 基盤研究（C）（2014.4.1～2017.3.31） 衛星測位における鉛直方向精度向上手法に関する研究	佐田達典（代表）
（一財）浜松まちづくり公社（2014.9.1～2015.3.31） 人口減少に伴う地方都市の活性化に向けたまちづくり	下川澄雄
（一財）国土技術研究センター（2014.10.30～2015.2.27） 道路構造基準に関する資料の収集及び分析	下川澄雄
（一社）交通工学研究会（2014.2.1～2014.12.31） センサーインフラがないアジア諸都市における交通モニタリングに関する研究	福田 敦（代表） 石坂哲宏
科学研究費補助金 基盤研究（B）（2013.4.1～2016.3.31） 広域災害時の救援救助活動を支える空港運用最適化モデルの開発と効果的運用方策の検討	轟 朝幸（代表）、川崎智也ほか
理工学部シンボリック・プロジェクト形成支援事業（学部長指定研究）（2010.12.1～2015.3.31） スマートトランジットの実現を目指した交通システムのイノベーション 轟 朝幸（代表）、小早川 悟、石坂哲宏、稲垣具志、川崎智也、金子雄一郎、関根太郎、富永 茂、高橋 聖、長田哲平、西内裕晶	
成田国際空港（株）（2014.7.1～2014.10.31） バードパトロールの調査試験	轟 朝幸（代表）、川崎智也
成田国際空港（株）（2014.10.1～2015.3.31） バードストライク発生の実態分析に関する研究	轟 朝幸（代表）、川崎智也
JX日鉱日石エネルギー（株）（2014.4.1～2015.3.31） ブロック舗装用強化不織布の耐久性能評価に関する研究	峯岸邦夫（代表）
日本道路株式会社・アドミクス株式会社（2014.11.1～2015.3.31） 非公開	安井一彦
（公財）日本交通管理技術協会（2014.6.1～2015.3.15） 非公開	安井一彦
首都高速メンテナンス神奈川株式会社（2014.6.10～2015.5.31） 非公開	安井一彦
住友電工システムソリューション株式会社（2014.11.15～2015.3.31） 非公開	安井一彦
科学研究費補助金 若手研究（B）（2014.4.1～2015.3.31） モバイルマッピングシステムを用いた速度特性の把握に関する研究	石坂哲宏（代表）
国立大学法人名古屋大学エコトピア科学研究所（2014.4.1～2015.3.31） 森林の環境負荷物質の低減機能やサービスの評価	伊東英幸（代表）、林 希一郎、長谷川泰洋、米倉佑亮、アンビカ・ダカール
科学研究費助成事業 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31） タイ・コンケン市における生物多様性ポテンシャルマップの作成と活用施策の提案	伊東英幸（代表）
環境省地球環境研究総合推進費（2014.4.1～2017.3.31） 環境保全オフセット導入のための生態系評価手法の開発「サブテーマ4：環境保全オフセットにおける生態系サービス評価手法の研究」	大場 真（代表）、林 希一郎、伊東英幸
科学研究費助成事業 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31） 視覚障害者の横断支援性を有する生活道路交通安全施設の実現に向けた実証的研究	稲垣具志（代表）
科学研究費補助金 基盤研究（C）（2013.4.1～2016.3.31） 視覚障害者の鉄道駅プラットフォームからの転落事例の多角的分析と対策	大倉元宏（代表）、稲垣具志
（公財）交通エコロジー・モビリティ財団 ECOMO 交通バリアフリー研究助成（2013.7.1～2015.2.28） 交差点における視覚障害者の横断支援のための歩行空間デザインに関する研究	稲垣具志（代表）、高橋和哉、藤澤正一郎、池田典弘、竹内聖人、長岡英司
（公財）三井住友海上福祉財団 研究助成（交通安全等部門）（2013.11.1～2015.3.31） 子どもの道路横断における判断能力の実態と安全対策関係者の認識状況の把握	稲垣具志（代表）、寺内義典
二子玉川地区交通環境浄化推進協議会（2014.7.1～2015.3.31） 世田谷区二子玉川ゾーン30の効果検証に関する調査研究委託	稲垣具志（代表）

科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2012.4.1 ~ 2015.3.31)
 国際物流の構造変化とわが国コンテナ港湾の競争力強化に関する研究
川崎芳一、寺田一薫、手塚広一郎、川崎智也、松田琢磨、渡邊壽大

科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2012.4.1 ~ 2015.3.31)
 自然災害時の人道援助ロジスティクスにおける在庫モデルの開発.....花岡伸也、川崎智也

科学研究費補助金 若手研究 (B) (2014.4.1 ~ 2016.3.31)
 内陸開発途上国における交通インフラ整備スキームの開発.....川崎智也 (代表)

科学研究費補助金 若手研究 (B) (2014.4.1 ~ 2017.3.31)
 損傷を受けた実構造物コンクリートのひび割れ面積比による塩分浸透特性評価法の構築.....齊藤準平 (代表)

受賞

2014. 4. 1~2015. 3. 31

賞 (受賞年月)

教員名

日本環境共生学会/日本環境共生学会第16回 (2013年度) 学術大会優秀発表賞/
 ライフサイクルを考慮した経済価値評価結果の活用による生態系サービスの評価—木造住宅と鉄骨住宅の比較を通じて— (2014.5)
伊東英幸

(公社)計測自動制御学会/SI2014優秀講演賞/
 横断歩道口用発光ブロックの識別に関する研究 (2014.12)稲垣具志

日本物流学会/日本物流学会研究奨励賞/
 The valuation of shipment time variability in Greater Mekong Subregion (2014.4)川崎智也

日本物流学会/日本物流学会賞 (論文等の部) /
 コンテナ荷動き量に対する経済指標の影響の持続性 (2014.9)川崎智也

日本海運経済学会/日本海運経済学会賞 (論文の部) /
 バルク貨物コンテナ化の決定要因について—北米/韓国・台湾航路における金属スクラップ輸入の分析— (2014.10)川崎智也

日本写真測量学会/秋季学術講演会論文賞/
 複数衛星系による測位信号を用いた誤差電波検知手法に関する研究 (2014.11)池田隆博

(公社)土木学会/平成26年度全国大会優秀講演者賞/
 高精度静止測位における準天頂衛星の併用効果に関する研究 (2014.12)池田隆博

(公社)地盤工学会/第49回地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞/
 混合地盤材料の路床弾性係数に及ぼす改良厚さの影響 (2014.11)山中光一

平成26年度 学生の受賞等 2014. 4. 1~2015. 3. 31

主催者/賞などの内容 (受賞年月)

受賞者氏名 (研究室)

(公社)土木学会土木情報学委員会/土木情報学賞 論文奨励賞/
 RGB単色光と陰影を利用したトンネルコンクリート壁面のひび割れ検知に関する研究 (2014.9)石森章之 (空間情報研究室)

日本物流学会/優秀発表賞 (院生セッション) /
 エキナカ商業施設における物資輸送活動に関する研究 (2014.10)村松賢吾 (交通計画研究室)

(公社)地盤工学会関東支部/優勝/
 Geo-Kanto2014 学生企画コンテスト (2014.10)村越祐介 (地盤工学研究室)

(公社)地盤工学会関東支部/優秀論文発表者賞/
 軌道管理システムを実用化するための閾値設定の提案 (2014.10)村越祐介 (地盤工学研究室)

(公社)地盤工学会関東支部/優秀論文発表者賞/
 高機能舗装に用いるジオシンセティックスの耐久性評価方法の提案 (2014.10)長谷川大介 (地盤工学研究室)

日本大学理工学部/平成26年度学会・協会賞/
 ADR法による不飽和3相系 (土粒子-NAPL-空気) のNAPL含有量に関する基礎的研究 (2014.11)原口大輔 (基礎力学研究室)

日本大学理工学部/理工学部学術講演会優秀発表賞/
 松戸市における高齢者の買物支援に関する分析—超小型モビリティ利用を想定として— (2014.12)
土田雅貴 (道路マネジメント研究室)

日本大学理工学部/理工学部学術講演会優秀発表賞/
 ポストバス導入による住民の外出状況達成度と与える影響 (2014.12)横関敬裕 (運輸交通計画研究室)

日本大学理工学部/理工学部学術講演会優秀発表賞/
 東名高速道路浜名湖SAを活用した遊覧船利用者の特徴分析 (2014.12)渡瀬貴明 (道路マネジメント研究室)

(公社)地盤工学会関東支部/優秀液状化対策工法部門第2位/
 第9回ソイルストイラクチャーコンテスト (2014.12)野田遼斗、小嶋真典、小高秀登、富田 舜、中嶋優歩 (地盤工学研究室)

日本大学理工学部/理工学部学術講演会優秀発表賞/
 LED投光器の照射角度を利用したコンクリート壁面の段差高計測に関する研究 (2015.3)石森章之 (空間情報研究室)

教室の動き

教室関連の動きを報告します。

■ 卒業研究発表会

下辺 悟・安井一彦・齊藤準平（4年生担任）

平成26年度の卒業研究発表会が平成27年2月21日（土）に船橋校舎14号館にて開催されました。

本年度は、131件（発表者143名）の発表があり、会場には大学院生のほかに3年生、2年生、1年生、保護者など、約150名の参加がありました。

発表は1テーマあたり発表8分、質疑応答4分の合計12分で、1年間の研究成果を披露しました。先生方や卒業生からの質問や意見に対して、一生懸命に回答していました。これまで学んだプレゼンテーション技術や繰り返し行った発表練習などの成果が発揮できていたようです。



卒業研究発表会 発表会場の様子

■ 平成26年度修士論文審査会

藤井敬宏（大学院2年生担任）

大学院博士前期課程の修士論文審査会が、平成27年2月25日（水）に船橋校舎14号館1423教室で開催されました。

発表件数は17件で、発表10分、質疑応答10分で活発な議論が行われました。修士論文の一覧は本号9ページをご覧ください。修士論文の合格者には、平成27年3月25日（火）に修士（工学）学位記が授与されます。

なお、審査会は、①プレゼンテーション能力、②研究内容、③質疑応答、④総合評価、の4項目をGPA評価（成績S：4点、A：3点、B：2点、C：1点）により全教員で採点しています。今年度の修了生は、中間審査会2回と最終審査会の計3回で評価を行い、研究内容評価の見える化として学生本人に周知しております。最終審査会では、いずれの学生も中間審査会の評価値を大幅に上回るオリジナリティー豊かな研究論文としての評価がなされております。



修士論文審査会



■ 平成26年度学生博士賞授与式

下川澄雄・石坂哲宏

日本大学理工学部学生博士賞授与式が平成27年3月20日(金)に駿河台校舎1号館CSTホールにおいて開催されました。交通まちづくり工房からは、22名の学生が学部長から学生博士賞を授与されました。

交通まちづくり工房は、以下の教育目標にもとづき、4プロジェクトに分かれて57名の学生が活動しています。具体的な活動内容については、交通 Bulletin / 2015年冬季号に詳しく掲載されていますので、そちらをご覧ください。

- (1) 交通データの収集、解析などを行うことによる工学的基礎能力の向上
- (2) 交通調査の企画、計画、実施から分析までを行うことによる企画力・自主性・自立性の向上
- (3) 実社会における交通問題を取り扱うことによる問題発見・認知力(気づき)と社会還元力の向上
- (4) プロジェクトとして実施することによる管理・運営能力の向上
- (5) 自治体や地域住民等との協同体験によるリーダーシップ・協調性・地域共生力の向上

工房では、地域の抱える問題を学生の目線で発見し、新しいアイデアが提案されます。ここで得られた経験が、今後の学業や社会での活動に生かされることを期待しています。学生博士賞の受賞、本当におめでとうございます。

■ 昇任教員の紹介

轟 朝幸 (教室幹事)



石坂哲宏 准教授

石坂先生は、本年4月に准教授に昇任されました。専門は交通計画、交通情報工学などで、交通システム計画、交通需要予測、システム工学、科学技術英語などの科目を担当され、卒業研究の指導にも従事されています。研究では、各種センサー技術を用いた交通状況評価やマイクロ交通シミュレーションを活用した環境負荷低減評価などについて研究されています。



伊東英幸 准教授

伊東先生は、本年4月に准教授に昇任されました。専門は交通環境計画、トランスポーターエコロジー、環境影



平成26年度学生博士賞受賞者

響評価、環境経済評価などで、環境工学、環境経済学、水理学などの科目を担当され、卒業研究の指導にも従事されています。研究では、道路事業における環境アセスメントやミティゲーションの評価、野生動物との交通事故分析、生態系サービスの経済評価などについて研究されています。



池田隆博 助教

池田先生は、本年4月に助教に昇任されました。専門は空間情報工学、測量学で、授業でも空間情報工学、測量実習を担当されるほか、プログラミング、数理統計学、情報処理なども担当されます。研究は、衛星測位測量の高精度化や3次元点群データによる交通空間の形状計測などについて研究されています。



山中光一 助教

山中先生は、本年4月に助教に昇任されました。専門は交通地盤工学、土木材料・施工マネジメントで、地盤工学、地盤材料実験、建設材料、プログラミング、製図・デザイン基礎などを担当されます。研究では、軽量盛土工法や混合地盤材料の特性評価などについて研究されています。

■ 退任教員の紹介

轟 朝幸 (教室幹事)



岩井茂雄 (前) 教授

岩井先生は、本年3月をもって定年退職されました。先生は昭和54年に本学(当時:交通工学科)に着任され、副手・助手・専任講師・助教授を経て平成17年より教授を務められました。舗装工学、舗装材料実験、環境工学、環境・技術者倫理などの科目を担当され、卒業研

究・修士論文・博士論文の指導など教育・研究活動にご尽力されました。その間、フィリピン工科大学にも長期派遣され、フィリピンの学生の指導にもあたられました。理工学部の国際交流委員会委員長・交通総合試験路管理責任者などの要職を務められるなど、学部運営にもご尽力されました。

本年4月からは特任教授として、引き続き本学科の科目を担当されます。



中山晴幸 (前) 専任講師

中山先生は、本年3月をもって定年退職されました。先生は、昭和50年に本学科(当時:交通工学科)に着任され、助手・助手を経て昭和61年より専任講師を務められました。情報処理、情報通信システム、構造力学、製図・デザイン基礎、地盤材料実験などの科目を担当され、卒業研究・修士論文の指導など教育・研究活動にご尽力されました。交通分野へ情報通信技術をいち早く導入され、トラックドライバーの疲労検知システムやLRT軌道のひずみ検知システム、構造力学 e-learning システムの開発など、多くの研究成果を残されました。

本年4月からは非常勤講師として、引き続き本学科の科目を担当されます。

退任の先生方の多年にわたるご尽力に心から感謝申し上げます、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

■ 事務室からのお知らせ

伊藤順子・熊田悦子・高梨美紀子(事務室)

新しいスタートが始まり、それを後押ししてくれるような心地のよいワクワクする季節となりました。新入生は新生活への期待と緊張と複雑な心境でしょうか。また、在校生は充実した学生生活を送れるよう頑張ってください。

さて、事務室では皆さんの学生生活のサポートを行っており、就職・進学・その他の資料も閲覧できるようになっています。また、公務員志望の方のために、参考書や問題集の貸し出しもしています。気軽に学科事務室に足を運んでください。

事務室案内

事務取扱時間	月曜日～金曜日	9:30～13:00、14:00～16:00
場所	7号館2階7214室	

*入り口は2カ所ありますが、向かって右側が学生専用出入口です。必ず交通システム工学科の赤いストラップを身につけて来てください。

■ 交通システム工学科写真コンテスト2014報告

下川澄雄・稲垣具志・江守 央

交通システム工学科では、学科同窓会である「わたちの会」に協賛いただき、2009年度より中学生・高校生を対象とした「写真コンテスト」を毎年開催しています。この写真コンテストは、社会生活における交通の役割やかかわりなどについて深い理解と興味を持っていただくとともに、これらを通じて本学科を広く知っていただくことを目的に開催しているものです。

今年のテーマは「夢のある交通」、全国各地より182点の応募をいただきました。作品は、鉄道、道路、航空、港湾などを中心に、交通施設や交通機関、それにかかわる人々が織りなす夢のある空間、魅力ある都市やまち、アーティスティックな空間や現象がうまく表現されていました。

応募いただいた作品は、わたちの会会長の植田和彦氏、写真家の西山芳一氏、舛巴亮氏、本学科教員からなる審査委員会(平成26年6月26日開催)において厳正なる審査のうえ、15作品を入賞といたしました。

また、平成26年8月2日(土)、3日(日)に開催しました理工学部オープンキャンパス(船橋校舎)において、本写真コンテストの展示会ならびに表彰式を同時に開催いたしました。表彰式には、受賞者や受賞者のご父母、学校関係者にも多数お越しいただき、学科主任の佐田達典教授より賞状と記念品が贈呈されるとともに、受賞作品の審査講評が行われました。

なお、本年度は、「交通とくらし」をテーマとして、5月1日(金)より応募を開始します。詳細は本学科ホームページをご覧ください。多数の応募をお待ちしています。

[日本大学理工学部交通システム工学科 写真コンテスト2015]
http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/top/photo_contest/

※過去の受賞作品も見られます。

1. 応募要項

- ・テーマ:「夢のある交通」
- ・サイズ:プリントでの応募の場合 カラープリント、2Lサイズ、四ツ切サイズ、ワイド四ツ切サイズ(デジタルの場合はA4サイズも可)
- ・対象:高校生・中学生(1人1作品)
- ・応募期間:平成26年5月1日～5月31日(必着)
- ・主催:日本大学理工学部交通システム工学科
- ・共催:交通システム工学科同窓会わたちの会
- ・入賞賞品:同窓会「わたちの会」より賞品贈呈
大賞(1名); iPad mini Retina ディスプレイモデル
特選(2名); 図書カード5,000円分

わたちの会会長賞(1名)；図書カード5,000円分
入賞(数名)；図書カード1,000円分
参加賞(全員)；記念ノベルティー

2. 応募結果

・応募総数(応募者数)：182件(郵送：122件、Web提出：60件)

審査結果

■大賞(1点)



「輝いているもの」
大友正也さん
(明星高等学校)

審査委員寸評

・テーマに沿っていて、人の動きを捉えている構図である。
・動きの一瞬を捉えている良さが出ていて、子どもたちの未来を感じ、その中にテーマである「夢のある交通」を表現している。また色のコントラストがとてもきれいである。

■特選(2点)



▲西山賞「旅立ちの準備」
青木小百合さん(平塚学園高等学校)

◀舛巴賞「次のステージへ」
小島朋朗さん(千葉県立東葛飾高等学校)

■わたちの会会長賞(1点)

「夜桜トンネル」▶
菊池杏里さん
(富士見中学校)



■入賞(11点)



「夢の新幹線」
川口晃平さん
(岩倉高等学校)



「未来へ」
佐々木悠太さん
(岩倉高等学校)



「Red way」
島田すみれ
(千葉県立東葛飾高等学校)



「希球」
松山 葵さん
(埼玉県立狭山清陵高等学校)



「吹雪の中に行く」
上田 真さん
(富山県立富山東高等学校)



「確認完了!!」
白井遙太さん
(渋谷教育学園幕張中学校)



「水上交通と鉄道交通の交点
～人モノが行き交う大都市」
柴原一之さん(東京農業大学第二高等学校)



「無人高速コーナリング」
嶋田 仁さん
(千葉日本大学第一高等学校)



「駆け抜ける」
丸喜翔太さん
(東京都立江戸川高等学校)



「crossing field」
河原田洸太さん
(日本大学豊山高等学校)



「夕焼け Line」
竹間遼太郎さん
(東京大学教育学部附属中等教育学校)



PHOTO CONTEST

平成26年度は4年生143人、大学院前期課程18名、合計161名に対して2,700件以上の求人があり、ほぼ100%の学生が企業に内定しました（平成27年3月3日現在）。図-1に内定率の月別推移を示していますが、4月がもっとも多く、次いで8月という結果になっています。また、8月までに60%以上の学生が内定を得ていました。

表-1、図-2に業種別就職状況を示します。就職先でもっとも多かったのは公務員（約25%）、次いで建設業（約20%）でした。これは、ここ数年の公務員の採用数が多いこと、東京オリンピックを控えて大手ゼネコンを中心に大幅に採用数が増えたことなどが影響しています。また鉄道関係ではJR北海道・東日本・東海・西日本、さらに東京メトロをはじめとする大手私鉄に就職しています。また、交通に関連するさまざまな企業に就職するという学科

の特徴も表れています。次年度以降も引き続き、学生の就職活動に対して、卒業生の方々のご支援をよろしくお願いいたします。

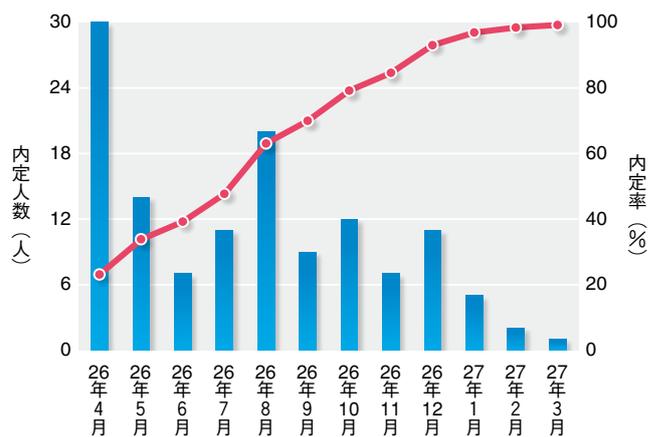


表-1 平成26年度就職状況 平成27年3月3日現在

分	野	学 部	大 学 院	合 計
公 務 員		33	5	38
公 社 ・ 公 団 等		0	0	0
建 設 業		28	2	30
コ ン サ ル タ ン ト		9	4	13
情 報 ・ ソ フ ト		4	0	4
運 輸	鉄 道 ・ バ ス	14	1	15
	物 流	6	2	8
製 造	橋 梁 ・ 金 属	0	1	1
	材 料	0	0	0
	交 通 関 係	2	1	3
不 動 産		2	0	2
保 険 ・ 金 融		1	0	1
学 校		1	0	1
自 営		0	0	0
そ の 他		14	0	14
進 学		15	2	17
本 年 度 に 就 職 を 希 望 し な い 学 生		12	0	12
卒 業 者 数		141	18	159

図-1 内定率の月別推移

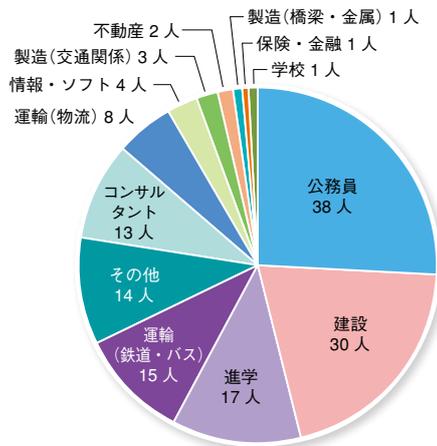


図-2 業種別就職者割合

編 集 後 記

現在、アジアハイウェイ1号線の東の起・終点は、東京・日本橋にあります。そこから西に辿ると中国、そしてインド亜大陸を経てトルコ・イスタンブールに至ります。さらにボスボラス海峡を渡り、ヨーロッパを横断すると、西の果てはポルトガル、また海を渡ればイギリスに到達します。地球規模の大動脈にこれまで多くの卒業生がかかわってこられました。これからも交通の卒業生が、グローバルに活躍されることを期待しています。（岩井）

2015年3月14日は北陸新幹線の開業日で、開業に伴う北陸各地の賑わいが報道されていました。これまで東京からの距離は青森よりも近くて遠かった金沢へ2時間28分だそうです。幸いにも近々乗車する機会がありそうですので、これまでの金沢までの移動時間と体感的に比較してみたいと思います。またその上で、これまで何度か指摘されてきた新幹線車両の電動およびハンドル型車椅子乗車の現状について見学したいと思います。（江守）